

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

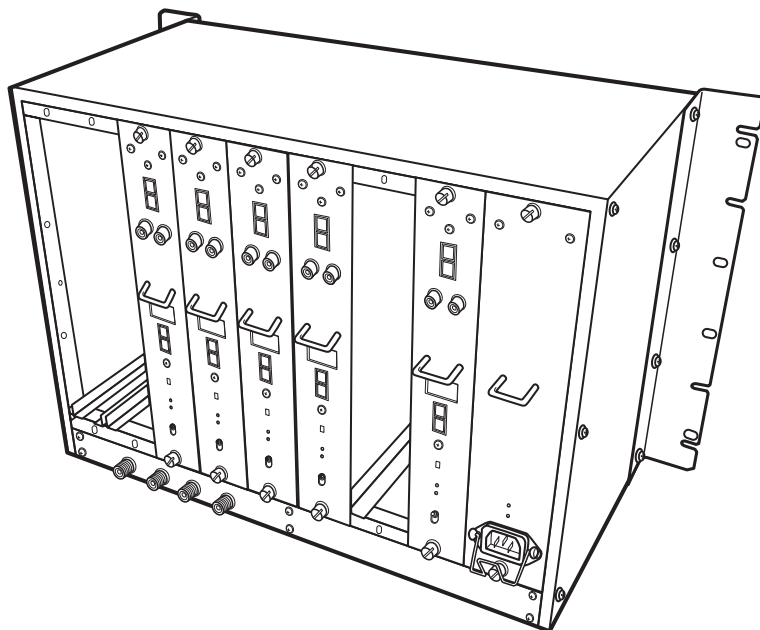
DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



地デジ・アナログコンバータ

HRM900□

サブラック HSR9116
ユニット HRM9602
専用リモコン HRM900R1



※品番のうしろの□はチャンネル数を表わしています。

安全上のご注意

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
この製品を正しく理解し、ご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後も、必ず保存してください。



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災や感電の原因となります。



- この製品の電源プラグは3ピンプラグです。必ず保護接地コンタクトを持った3ピンコンセントに挿入してください。



- この製品は屋内専用です。屋外で使用したり、水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどで使用しないでください。火災や感電の原因となります。



- この製品を暖房機や加湿器のそばなど高温になる場所、湯気が当たるような場所に設置しないでください。燃えたりして、火災や破損の原因となります。



- この製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。ファンの寿命が短くなり、火災や感電の原因となることがあります。



- 取り付けネジや接栓は、指定している力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、けがや故障の原因となります。



- この製品の電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っ張ったりしないでください。火災や感電の原因となります。
電源コードが傷んだときは（心線の露出、断線など）お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



- 万一内部に水などが入った場合は、まずこの製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



- この製品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。



- この製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。
また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにこの製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



- この製品のヒューズは、同一規格の容量および形状のものをご使用ください。また交換の際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や故障の原因となります。



- 雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。感電の原因となります。



注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- お手入れの際には、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。



- リモコンには、指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。電池が破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



- 電池の＋と－の向きを正しく入れてください。電池が破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



- アルカリ電池の液が漏れた場合は、素手で触らないでください。皮膚の炎症、失明やけがの原因となることがあります。目に入った場合は流水で洗い、眼科医にご相談ください。



HRM900□は、電源ユニットHPS9601を組み込んだサブラックHSR9116と地デジ・アナログコンバータ用ユニット（以下コンバータ用ユニットとする）HRM9602とで構成され、□には実装するコンバータ用ユニットの台数であるチャンネル数を表わします。

目次

機器概要	6
システム例	6
特長	6
構成品	6
使用上の注意	7
各部の名称	8
HSR9116、HPS9601の前面パネル	8
電源ユニットHPS9601の背面パネル	9
HRM9602の前面パネル	10
HRM9602の背面パネル	11
リモコン HRM900R1	12
設置方法	13
取付金具の付け方と本体設置	13
本体据置	13
ラック装着時	13
壁面固定時	14
収納ボックスへの設置	15
B-CASカードとリモコンの準備	16
B-CASカードを挿入する	16
リモコンを準備する	17
ユニットの取り付けと取りはずし	18
ユニットを取りはずすとき	18
ユニットを取り付けるとき	18
ヒューズの交換	19
交換手順	19
ファンの点検と交換	20
点検方法	20
ファンの交換方法	21
接続方法	22

設定方法	22
初期設定	22
電源の投入とアナログ信号出力チャンネルの設定	22
接続テレビの設定	23
自動チャンネル設定	24
デジタル信号入力チャンネルの設定	24
メニュー操作（メニュー）	26
メニューの操作と項目設定のしかた	26
メニュー一覧表	27
チャンネル設定	28
自動チャンネル設定	28
チャンネル割り当て変更設定	29
各種設定	30
接続テレビ設定	30
その他の設定	30
設定初期化（工場出荷設定）	31
画面表示	32
番組情報・チャンネル番号を表示する（画面表示）	32
ズーム画面表示	33
調整方法	34
規格とブロックダイアグラム	35
規格	35
ブロックダイアグラム	36
外観図	37
参考	38
故障かな？と思ったら	38
エラーメッセージ	39
注意事項	40
機器実装用B-CASカード使用に伴う「契約・登録」について	41
業務用B-CASカード使用許諾契約約款（機器実装用）	42
「業務用B-CASカード（機器実装用）」契約・登録書	45

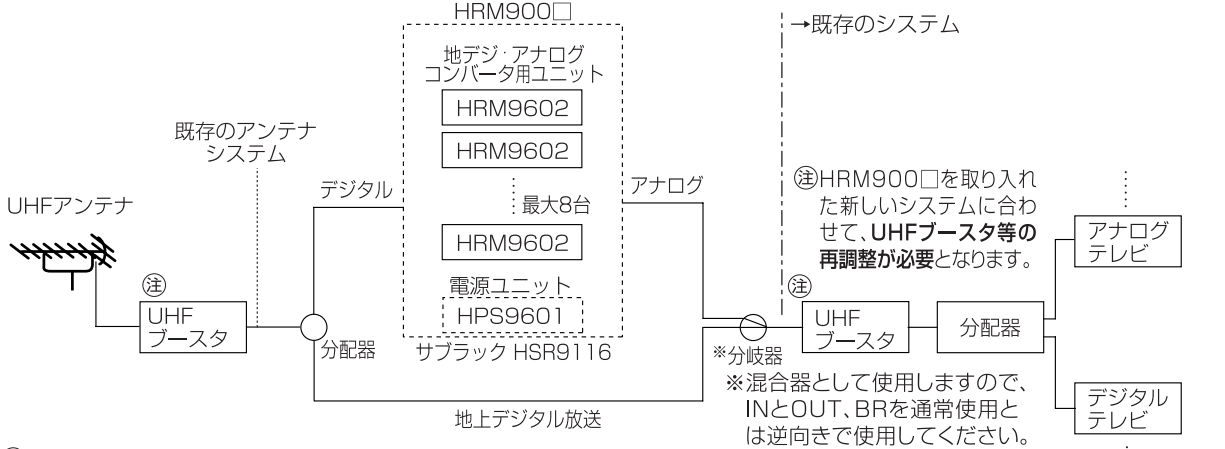
機器概要

この製品は、ホテルや病院などの施設において、既存のアナログテレビで地上デジタル放送を視聴するための、アナログ変換伝送装置です。

地デジ・アナログコンバータ用ユニット（HRM9602）を挿入することで最大8波伝送できます。

システム例

この製品を設置するときは、既存システムのブースタなどを再調整（または交換）する必要があります。システム全体を考慮して調整してください。



③ 既存のシステムにUHFブースタが設置されていない場合は、UHFブースタを新たに設置してください。また、強電界地域では、HRM900□への入力信号が規定レベルになるように、必要に応じて前置ブースタの前にアッテネータ（減衰器）を設置してください。

特長

- 既存のアナログテレビで、ゴーストやノイズの無い鮮明な画像の地上デジタル放送番組を視聴できます。
- 1台で最大8波伝送可能ですので、ほぼ全国エリアの地上デジタル放送受信に対応できます。
- 入力および出力チャンネル設定は可変式を採用していますので、施工時に手間無くアップダウンスイッチでチャンネル設定ができます。
- 小形のラックタイプですので、設置が簡単です。また、据置、壁面取付、ラック（EIA/JIS共用）組込の3通りの設置方法が選択できます。
- 低消費電力設計です。

構成品

サブラック HSR9116	1
電源ユニット HPS9601（HSR9116に実装済）	1
コンバータ用ユニット HRM9602（別梱包）	指定チャンネル数
予備ヒューズ（耐ラッシュ、UXM 250V 2A PBF 電源ユニット背面に付属）	1
電源コード	1
リモコン HRM900R1	1
単3乾電池	2
取付金具	2
ブランクパネル	4
ブランクパネル固定ネジ	8
B-CASカード（コンバータ用ユニットに付属）	コンバータ用ユニット数
チャンネル表示シール	1
取扱説明書	1

使用上の注意

- この製品は、AC100V電源でご使用ください。またこの製品は、アースラインのある3線式電源コードを通して接地されます。電源プラグは必ず保護接地コンタクトを持った3ピンコンセントへ挿入してください。
- この製品は、コンバータ用ユニット8台（8波）実装時には重さが23kgとなります。設置作業は必ず複数で行うなど、取り扱いには十分に注意してください。
- コンバータ用ユニットHRM9602をサブラックHSR9116に装着する際は、サブラックのガイドに沿ってまっすぐにゆっくりと挿入し、ユニット固定ネジがサブラックに当たらないように注意しながら最後までしっかりと押し込んでください。その後、ユニット固定ネジでサブラックに固定してください。
- ガイドからはずれたり、歪んだ状態で無理にユニットを装着しますとサブラック本体または、ユニットを破損する恐れがありますのでご注意ください。
- この製品は、隣接チャンネル伝送に対応していません。
- アナログ信号チャンネルを設定する前には、必ず事前にスペクトラムアナライザ等で空きチャンネルを確認しておいてください。
- ヒューズは同一規格の容量および形状のものをご使用ください。また交換の際には、19ページの **交換手順** の通り必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。
- 電源スイッチをON状態としても電源パイロットランプが点灯しない場合は、前面AC100V3ピンコネクタの未挿入、またはヒューズの断線が生じていることが考えられますので、コネクタ、ヒューズの確認をお願いします。なお、ヒューズを新しいものに交換しても電源パイロットが点灯しないか、もしくは交換したヒューズが断線する場合は、当社のサービス係員にご連絡くださるようお願いいたします。
- 入出力端子に接続するケーブルは心線径が0.8mmよりも太いものを使用しないでください。心線径が0.8mmよりも太いケーブルを使用する場合は、コンタクトピン付接栓を必ず使用してください。心線径が太いケーブルを直接接続すると故障の原因となります。
- サブラックHSR9116からユニットを抜き取る際は、電源スイッチを切ってからユニット固定ネジを緩めた後、ユニット抜き取金具を持って手前に引き抜いてください。
- ファンアラームが点灯した場合は、異常状態を確認し早急にファンを交換願います。交換しない場合はユニット内部が高温になり、故障の原因となります。（交換用ファンは別売です。）
- コンバータ用ユニットHRM9602の暗証番号は全て「9999」です。この暗証番号は変更しないでください。暗証番号を正しく管理できないと初期設定に戻すことができなくなり、メンテナンス上支障をきたす場合があります。

※この製品を処分するときは、産業廃棄物として条例に従って処理してください。

ご注意

1. B-CASカードの登録について

この製品を利用するためにはB-CASの登録をお客様がする必要があります。
詳しくは41～45ページを参照してください。

2. チャンネルリパッキング（チャンネル再編）について

地上デジタル放送で使用されるチャンネルのうち、53チャンネルから62チャンネルまでの周波数を使用する放送局の無線局免許については、周波数割当計画（平成12年11月30日郵政省告示第746号）の規定に基づき、その周波数の使用期限は、アナログ放送の終了予定日（2011年7月24日）の1年後の2012年（平成24年）7月24日までとなっています。

このため、デジタルチャンネルの変更が行なわれる地域があります。

変更が行なわれる地域では受信部でのチャンネル再設定が必要となります。

変更となる地域およびチャンネルについては総務省のホームページ（<http://www.soumu.go.jp>）を参照してください。

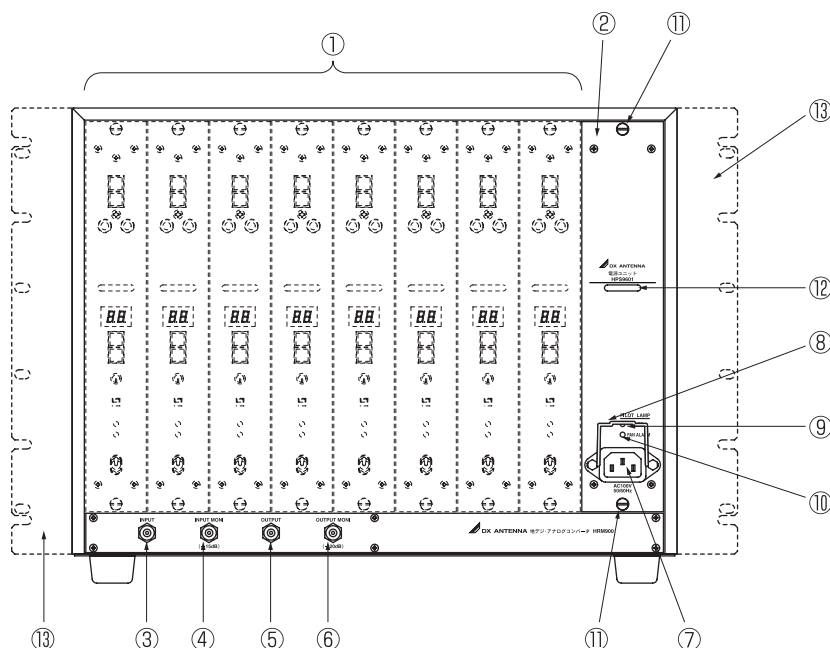
3. その他 2011年以降のサービスについて

2011年以降、新たに始まるサービスによっては、現在ご使用のチャンネルに影響が生じる可能性があります。

その場合には、お近くの当社支店・営業所にご相談ください。

各部の名称

HSR9116、HPS9601の前面パネル



①HRM9602ユニット装着場所（8か所）

コンバータ用ユニットHRM9602を最大8台装着することができます。

②電源ユニット HPS9601

サブラックHSR9116に実装済みです。

③デジタル信号入力端子

UHFアンテナで受信した地上デジタル放送のデジタル信号を入力します。サブラックに装着したコンバータ用ユニットの背面パネルの入力端子に接続されます。（締付トルク：2N・m）

④入力モニタ端子

この製品の入力モニタ端子です。入力されるデジタル信号に対して**15dB低いレベル**でモニタされます。入力レベルが規定値になるように調整してください。

⑤アナログ信号出力端子

デジタル信号をアナログ信号に変換してこの端子から出力します。サブラックに装着したコンバータ用ユニットの背面パネルの出力端子に接続しています。（締付トルク：2N・m）

⑥出力モニタ端子

この製品の出力モニタ端子です。出力端子から出力されるアナログ信号に対して**20dB低いレベル**でモニタされます。出力端子の出力レベルが85dB μ Vになるように各ユニット（HRM9602）のGCボリュームを調整してください。

⑦AC100V入力端子〔AC100V 50/60Hz〕

AC100Vの入力端子です。付属の電源コードを使用して、必ず保護接地コンタクトを持った3ピンコンセントに接続してください。

⑧ACインレットロック金具

電源コードの抜け止め金具です。電源コードを、AC100V入力端子⑦に接続した後、必ずこの金具で電源コードをロックしてください。

⑨電源パイロットランプ〔POWER〕

この製品の電源部には電源スイッチがありません。電源コードを接続して電源が供給されるとパイロットランプ（緑）が点灯し、この製品が動作状態であることを示します。

⑩ファンアラーム〔FAN ALARM〕

ファンの回転数低下、コネクタ挿入忘れなどの異常時には、アラームランプが点灯し異常状態を警告します。アラームランプはファンの回転数がおよそ1/2以下になると点灯します。

（警告）このアラームが点灯した場合は、異常状態を確認し早急にファンを交換願います。交換しない場合はユニット内部が高温になり、故障の原因となります。（交換用ファンは別売です。）

⑪ユニット固定ネジ

電源ユニットをサブラックに抜き差しするときに使用します。ユニットを取り付けた後は、締め付けて固定してください。

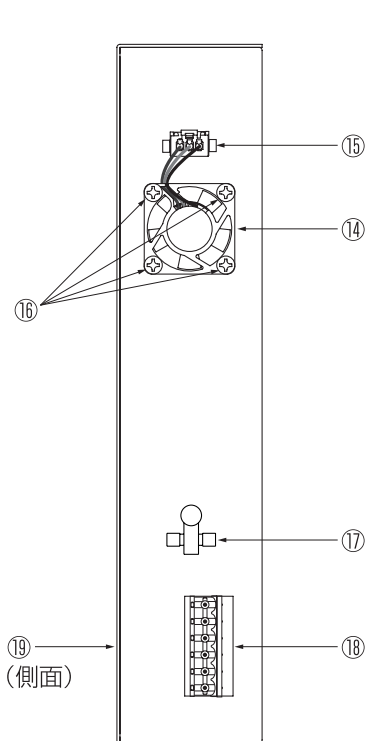
⑫ユニット抜取金具

ユニットを抜き取る際、ユニット固定ネジ⑪を緩め、この金具を持って引き抜いてください。

⑬取付金具（付属品）

使用する取付穴によって製品の取付方法を選べます。サブラックの前側に付けるとラック取付け用になります。サブラックの後側に付けると壁面取付け用になります。

電源ユニットHPS9601の背面パネル



⑭ファン

電源ユニットはファンにより強制空冷を行なっています。ほこりの少ない良い環境で使用し、定期的に交換してください。（良い環境でのファンの寿命は約5年です。）

⑮ファン用コネクタ

ファン⑭を動作させるための電源を供給するコネクタです。ファンを交換する際に抜き差ししてください。また、交換前には必ず電源コードを電源から抜いてください。

⑯ファン固定ネジ

ファンを交換するときに使用します。ファンを取り付けた後は、締め付トルク0.9N・mで固定してください。

⑰予備ヒューズ〔耐ラッシュ、UXM 250V 2A PBF〕

同一規格容量および、形状のものを使用してください。規定以外のものを使用しますと、故障の原因となることがあります。

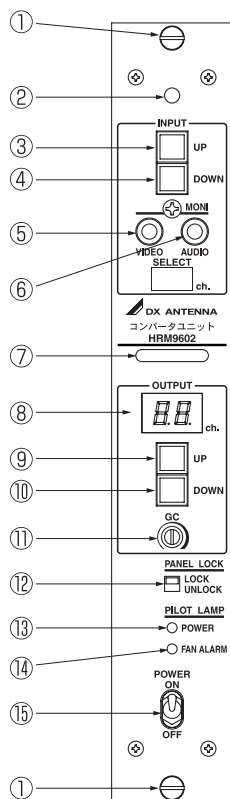
⑱電源出力コネクタ

この製品を駆動するためのDC+5V電源を供給する端子です。

⑲ヒューズホルダ

ユニットの側面に装備しています。ヒューズを交換するときは、19ページの **交換手順** の通りに作業してください。

HRM9602の前面パネル



①ユニット固定ネジ

ユニットをサブラックに挿入した後、締め付けて固定してください。

②リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。

③デジタル信号入力チャンネル設定UPボタン

入力したデジタル信号のチャンネル設定をするときに使用します。ボタンを押すごとにチャンネルが大きい数に移ります。

④デジタル信号入力チャンネル設定DOWNボタン

入力したデジタル信号のチャンネル設定をするときに使用します。ボタンを押すごとにチャンネルが小さい数に移ります。

⑤地デジ受信チャンネル確認用映像端子

受信した地上デジタル放送の設定チャンネルを確認するための映像端子です。

⑥地デジ受信チャンネル確認用音声端子

受信した地上デジタル放送の設定チャンネルを確認するための音声端子です。

⑦ユニット抜取金具

ユニットを抜き取る際は、ユニット固定ネジ①を緩め、この金具を持って引き抜いてください。

⑧アナログ出力チャンネル表示パネル

アナログ信号を出力するときに設定したチャンネルを表示します。チャンネルを設定する前に必ずスペクトラムアナライザ等で空きチャンネルを確認しておいてください。この製品は、隣接チャンネル伝送に対応していません。

⑨アナログ信号出力チャンネル設定UPボタン

出力するアナログ信号をチャンネル設定するときに使用します。ボタンを押すごとにチャンネルが大きい数に移ります。

⑩アナログ信号出力チャンネル設定DOWNボタン

出力するアナログ信号をチャンネル設定するときに使用します。ボタンを押すごとにチャンネルが小さい数に移ります。

⑪GCボリューム

出力レベルを調整するためのボリュームです。最大出力に対して反時計方向に回すと出力レベルを下げるができます。(0～-10dB以上)

⑫フロント操作部ロックスイッチ

このユニットの前面パネルで設定した内容をロックします。

このスイッチでロックすると、チャンネル設定ボタンとリモコンの操作が無効となります。

(ただし、GC出力調整ボリュームはロック時でも調整することができます。)

⑬電源パイロットランプ〔POWER〕

電源スイッチ⑮をONにするとパイロットランプ(赤)が点灯し、この製品がスタンバイ状態であることを示します。

スタンバイの状態でもリモコンの電源ボタンを押すと、電源パイロットランプ(緑)が点灯し、動作状態となります。(出荷時設定はスタンバイ状態です)

⑭ファンアラーム (FAN ALARM)

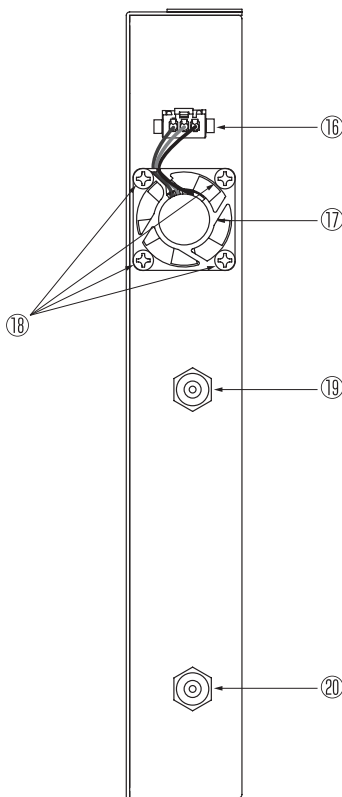
ファンの回転数低下、コネクタ挿入忘れなどの異常時には、アラームランプが点灯し異常状態を警告します。アラームランプはファンの回転数がおよそ1/2以下になると点灯します。

(警告) このアラームが点灯した場合は、異常状態を確認し早急にファンを交換願います。交換しない場合はユニット内部が高温になり、故障の原因となります。(交換用ファンは別売です。)

⑮電源スイッチ

このスイッチをONにすることにより、この製品を動作させることができます。サブラックに脱着の際は、OFFの状態ですべてを脱着してください。

HRM9602の背面パネル



⑯ファン用コネクタ

ファン⑰を動作させるための電源を供給するコネクタです。ファンを交換する際に抜き差ししてください。

⑰ファン

コンバータ用ユニットはファンにより強制空冷を行なっています。ほこりの少ない良い環境で使用し、定期的に交換してください。(良い環境でのファンの寿命は約5年です。)

⑱ファン固定ネジ

ファンを交換するときに使用します。ファンを取り付けた後は、締付トルク0.9N・mで固定してください。

⑲デジタル信号入力端子 (INPUT)

デジタル信号を入力するための端子です。サブラック HSR9116実装状態で60~85dB μ Vの範囲で入力することができます。サブラック装着時、リアパネルの端子に接続されます。入力インピーダンスは75 Ω です。

⑳アナログ信号出力端子 (OUTPUT)

入力されたデジタル信号をアナログ信号変換、周波数変換し出力する端子です。サブラック装着時、リアパネルの端子に接続されます。出力インピーダンスは75 Ω です。

リモコン

電源ボタン (赤色)

本機の電源を入/切します。



チャンネル (数字) ボタン

チャンネル番号を入力するときに使います。



カーソルボタン

設定メニューの項目を選択するときに使います。



チャンネル (↑/↓) ボタン

チャンネルを選択します。



メニューボタン

設定メニュー画面を表示します。



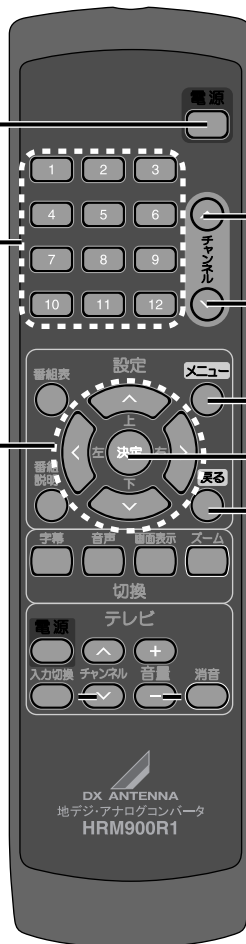
決定ボタン

メニュー画面などで選択した項目を確定するときに使います。



戻るボタン

電子番組表 (EPG) やメニュー設定画面などで前の画面に戻るときに使います。



※  ボタンはこの製品を操作するためのボタンです。

その他のボタンは使用しません。

また、このボタンの操作時はコンバータ用ユニットHRM9602前面のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンを使う時は、設定しないコンバータ用ユニット前面のロックスイッチを「LOCK」にしてください。

設置方法

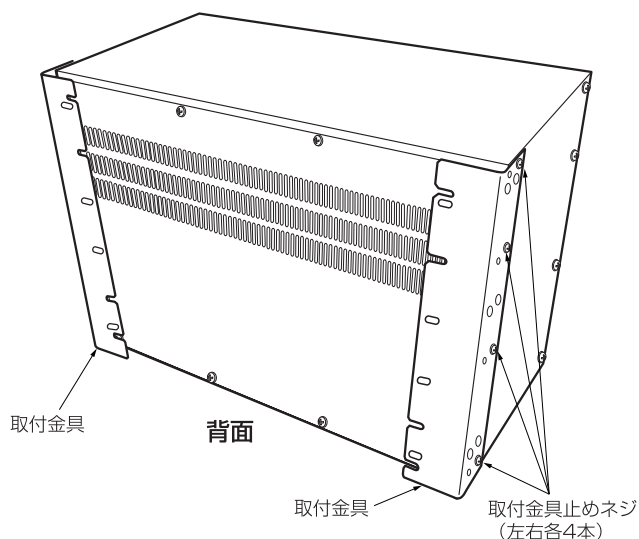
取付金具の付け方と本体設置

この製品は、コンバータ用ユニット8台（8波）実装時には重さが23kgとなります。設置作業は必ず複数で行なうなど、取り扱いには十分に注意してください。

<本体据置>

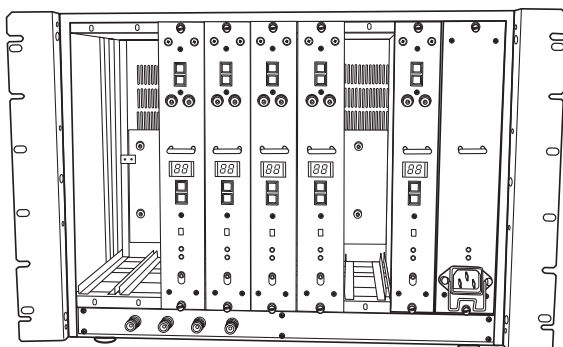
据置の場合は、図のように取付金具を外側のネジ止め穴で固定しての本体を設置してください。

※この製品を、取付金具のない状態で使用する場合は、必ず後ろの設置面と本体の間を10mm以上空けて設置してください。
この製品の電源ユニットとコンバータ用ユニット背面のファンの効果がなくなり、この製品が動作しなくなります。



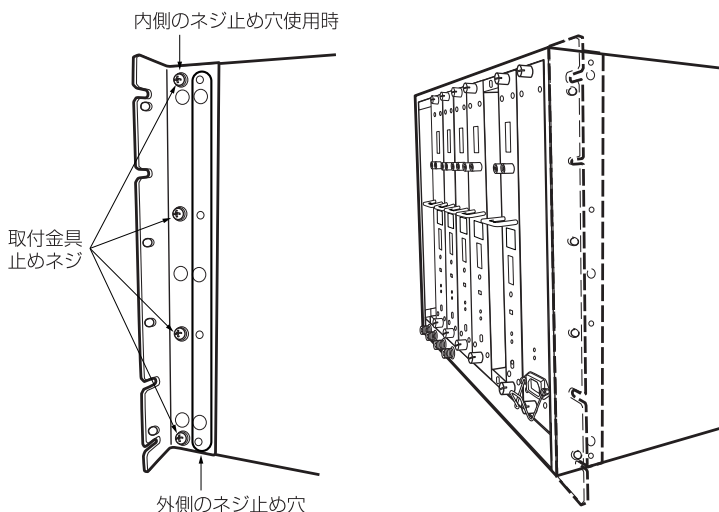
<ラック装着時>

この製品本体両側に付いているネジ左右各4本を利用して、図のように、本体前面に取付金具（付属品）の向きを合せて取り付けてください。ラックに組み込む際は、底面にサポートアングルなどを使用し、取り付け補強をしてください。



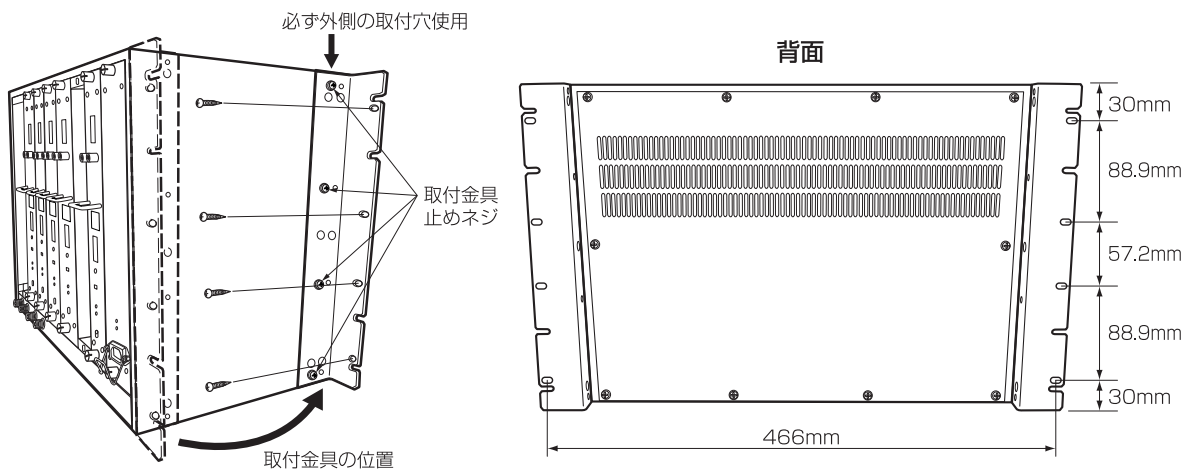
このとき、取付金具のネジ止め穴を内側にすると、ラック面とこの製品のパネル位置が同一面になります。

外側のネジ止め穴で取り付けると、パネル位置はラック面より奥になりますが、端子やユニット抜取金具はラック内に収まります。

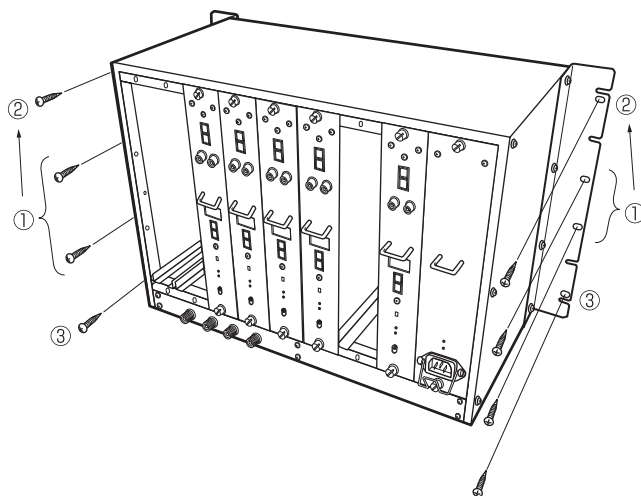


<壁面固定時>

- 1** この製品本体両側に付いているネジ左右各4本を利用して、図のように、この製品本体の背面に取付金具（付属品）の向きを合せて、取り付けてください。
このとき取付金具は外側の取付穴で本体に固定します。

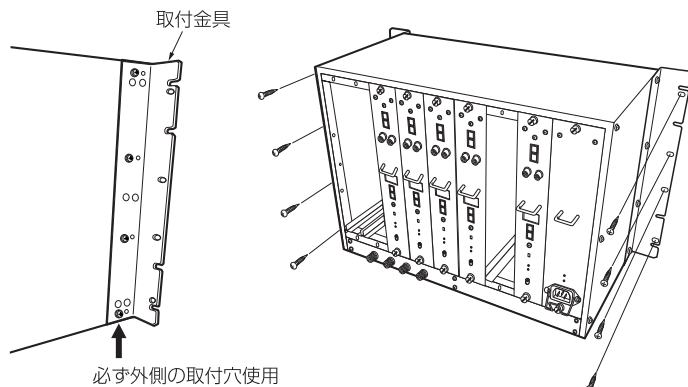


- 2** 壁面への固定は、壁面の強度を確認して、市販のM5のネジを使用して、中央寄り→上側→下側の順に左右それぞれ4か所以上で取り付けてください。
壁面がコンクリートなどの場合は、穴位置を決めてM5のアンカーを左右それぞれ4か所以上埋め込んでください。



収納ボックスへの設置

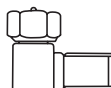
- 1** 設置する前に、収納ボックスに電源コードと同軸ケーブル2本を通すための穴を開けます。
ケーブルが取り付け易いところに、直径30～35mmの穴を開けてください。
- 2** 収納ボックスに開けた穴でケーブル等が傷つかないように、ブッシュなどで穴の端面処理をしてください。
- 3** 収納ボックスを設置します。
- 4** 図のように、HSR9116本体に取付金具を取り付けてください。



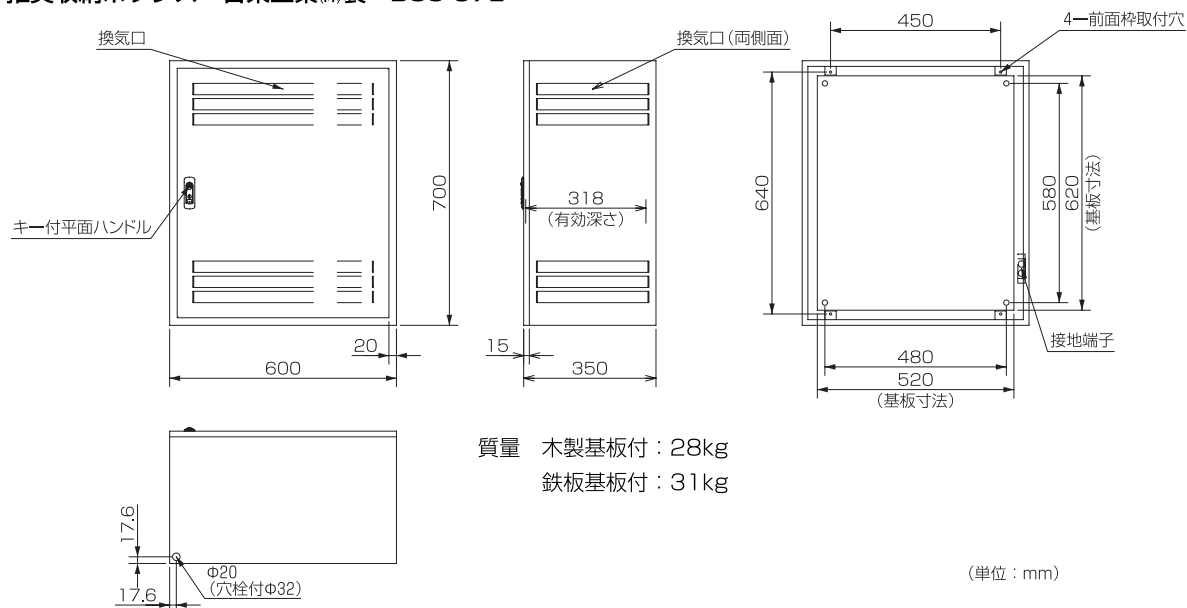
- 5** HSR9116本体を収納ボックスに入れて、取付金具をボックスの板面に固定してください。
使用ネジ：呼び径5mmの木ネジ
- 6** 電源コードと入出力端子に接続する2本の同軸ケーブルを収容箱に引き込み、HSR9116本体に接続します。このとき、本体側F座にL形中継プラグを取り付けると同軸ケーブルが接続しやすくなります。

※収納ボックス内に虫やホコリなどがはいるないように、ケーブルと穴のすき間をパテなどでふさぐことをお勧めします。

推奨L形中継プラグ：高シールド形コンセントプラグ SHP-7F（別売）



推奨収納ボックス：日東工業(株)製 B35-67L



B-CASカードとリモコンの準備

<B-CASカードを挿入する>

地上デジタル放送を視聴するには、各コンバータ用ユニットHRM9602に付属のB-CAS（ビーキャスト）カードを挿入する必要があります。

1 B-CASカードを取り出します

開封前に必ず契約約款をお読みください。

付属のB-CASカードを台紙から取り出します。

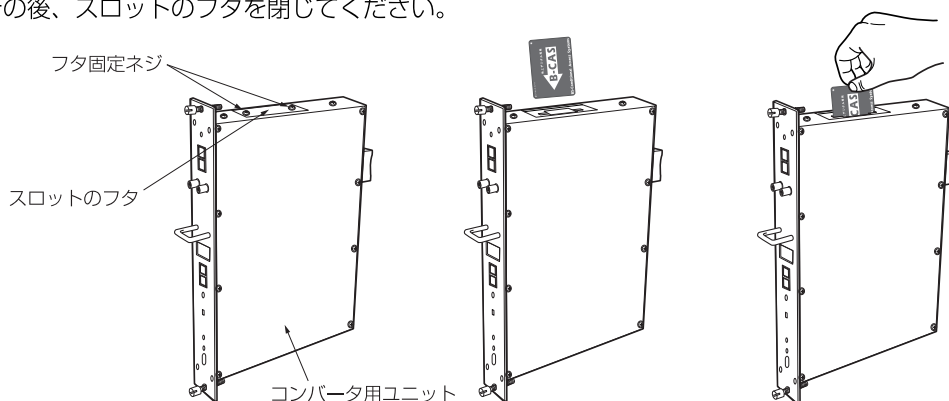
B-CASカードのパッケージを開封すると、パッケージに添付されている契約約款に同意したものとみなされます。

2 B-CASカードを挿入します

コンバータ用ユニットHRM9602それぞれの天面のフタを開けてスロットに付属のB-CASカードを差し込みます。

図のように矢印のある印刷面の向きに注意し、矢印の先端を先にして奥まで挿入してください。

その後、スロットのフタを閉じてください。



※B-CASカードID番号管理のために、B-CASカード台紙のバーコードシールを、挿入したコンバータ用ユニットHRM9602の天面や側面に貼り付けておくことをおすすめします。

3 B-CASカードの登録をします

41～44ページに記載された内容に従い、B-CASカードの登録を行なってください。B-CASカードの登録（45ページの契約・登録書を使用します）がなされていないと、視聴ができなかったり、画面にB-CASカードを登録するよう表示が出たりします。

B-CASカード 取り扱い上の注意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。



ご注意

- 本機付属のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとB-CASカードは機能しません。
- B-CASカードは奥まで挿入してください。
- ご使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- ご使用直後のB-CASカードは温かくなりますので、抜き差しする場合はご注意ください。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合、B-CASカードの交換が必要となる場合があります。詳しくは39ページをご覧ください。

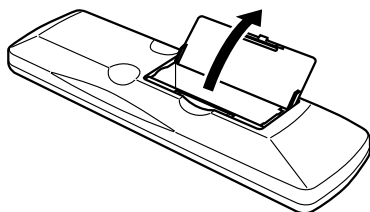
<リモコンを準備する>

乾電池の入れかた

1

カバーをあけます

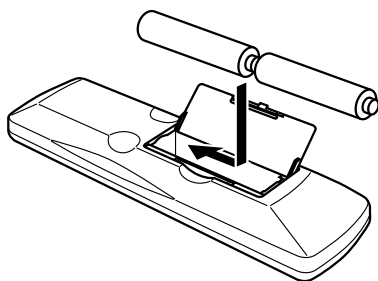
ツメを押しながら、カバーを矢印の方向にあけます。



2

単3型乾電池を入れ、カバーを元通りに閉めます

⊕ ⊖ の表示どおりに入れてください。



！ ご注意

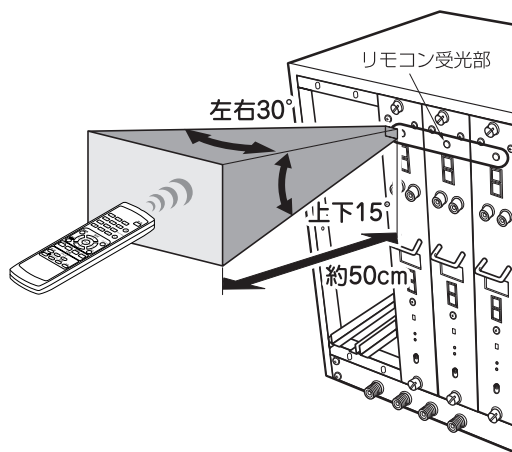
- 指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。

使いかた

- リモコンの先端部を、各コンバータ用ユニットのリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンの操作範囲は各コンバータ用ユニット正面よりおよそ50センチメートル以内で、本体正面より左右30° 以内、上下15° 以内です。

- リモコンを使う時は、設定しないコンバータ用ユニット前面のロックスイッチを「LOCK」側にしてください。
- リモコン操作で本機が動作しない場合（コンバータ用ユニット本体のボタンでは動作する）は、リモコンの乾電池寿命が考えられます。新しい電池に交換してください。
- リモコンを直射日光の当たる場所に放置したり、取り付けしないでください。
熱により変形したり、誤動作する場合があります。
- コンバータ用ユニットのリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。リモコン受光部が陰になるようにするか、リモコン受光部に近づけて操作してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
また、水にぬらしたり温度の高いところに置かないでください。



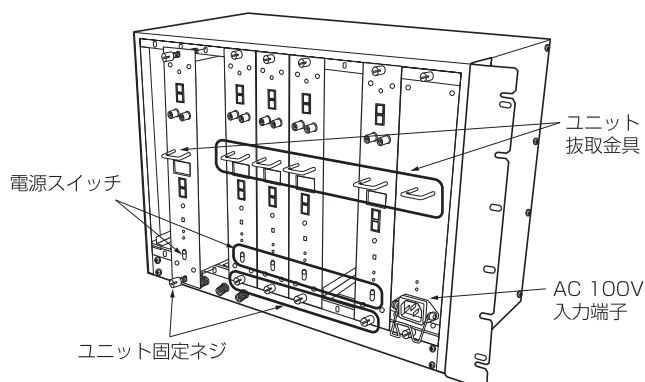
ユニットの取り付けと取りはずし

この製品には電源部としての電源ユニット1台が実装され、最大8台のコンバータ用ユニットを装着できます。コンバータ用ユニットを装着したり、点検やヒューズ・ファンの交換等でそれぞれのユニットを着脱することができます。

<ユニットを取りはずすとき>

1 電源の供給を止めます

この製品からコンバータ用ユニットを抜き取る際は、抜き取るユニットの電源スイッチを切ります。電源ユニットの場合は、まず、全てのコンバータ用ユニットの電源スイッチを切ってから電源コードをAC 100V入力端子から抜いてください。



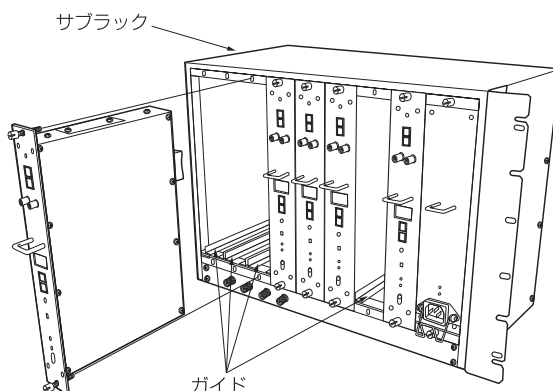
2 ユニートを抜きます

ユニット固定ネジを緩めて、ユニット抜取金具を持って手前に引き抜いてください。

<ユニットを取り付けるとき>

1 ユニートを装着します

ユニットを装着する際は、サブラックのガイドに沿ってまっすぐにゆっくりと最後まで挿入してください。その後、ユニット固定ネジを $1.4 \pm 0.1 \text{ N} \cdot \text{m}$ で締め付けて固定してください。



2 電源を供給します

電源を供給する前に、全てのユニットをサブラックに装着し、ケーブルの接続を確認してください。

- 電源ユニットの場合は、電源コードをAC 100V入力端子に接続し、その後全てのコンバータ用ユニットの電源スイッチをONにしてください。
- コンバータ用ユニットの場合は、装着したユニットの電源スイッチをONにしてください。

3 コンバータ用ユニットの電源パイロットランプを見ます

緑色点灯（動作状態）になっていることを確認してください。

消灯しているときはユニットに電源が供給されていません。原因を確かめて電源供給してください。

赤色点灯（スタンバイ状態）のときは、リモコンの電源ボタンを押して、緑色点灯（動作状態）にしてください。

！ ご注意

- この製品を設置・設定後にコンバータ用ユニットを追加する場合は、追加するユニットにB-CASカードを挿入し、デジタル入力／アナログ出力チャンネルを設定してください。詳しくは16, 22～25ページをご覧ください。

ヒューズの交換

この製品は、電源ユニットの側面にヒューズホルダを、背面に予備ヒューズを装備しています。ヒューズを交換するときは、必ず電源供給を止めて以下の手順で作業してください。

交換手順

- 1 全てのコンバータ用ユニットの電源スイッチをOFFにします**
- 2 電源ユニットから電源コードを抜きます**
ロック金具をあけて、電源コードを抜いてください。（22ページのイラストを参照）
- 3 電源ユニットをサブラックから抜きます**
18ページの **ユニットの取り付けと取りはずし** の手順で、ユニットを取りはずしてください。
- 4 新しいヒューズに交換します**
電源ユニット側面のヒューズホルダ溝にマイナスドライバなどをあてて矢印の方向に回し、ヒューズホルダを取り出します。
電源ユニット背面の予備ヒューズ（耐ラッシュ、UXM 250V 2A PBF）をヒューズホルダに差し込んでください。
（注）ヒューズは必ず同一規格・容量および形状のものを使用してください。規定以外のものを使用すると、故障の原因となります。
※常時、同一規格・容量および形状のヒューズを予備としてご準備ください

交換終了後は、ヒューズホルダを矢印と反対の方向に回して、もとの穴に差し込んでください。
- 5 電源ユニットをサブラックに戻します**
18ページの **ユニットの取り付けと取りはずし** の手順で、ユニットに戻してください。
ユニット固定ネジは、締付トルク $1.4 \pm 0.1 \text{ N} \cdot \text{m}$ で締め付けて固定します。
- 6 電源ユニットに電源コードを差し込みます**
電源ユニット前面のAC100V入力端子に電源コードを差し込んで、電源パイロットランプ（緑）が点灯していることを確認してください。
電源コードの抜け防止のため、必ずロック金具で固定してください。
（22ページのイラストを参照）
- 7 全てのコンバータ用ユニットの電源スイッチをONにします**
電源パイロットランプが緑色点灯（動作状態）していることを確認します。
消灯しているときはユニットに電源が供給されていません。原因を確かめて電源供給してください。
赤色点灯（スタンバイ状態）のときは、リモコンの電源ボタンを押して、緑色点灯（動作状態）にしてください。

ファンの点検と交換

この製品の各ユニットは、空冷用のファンを使用しており、このファンには寿命があります。

ファンの寿命は、ほこりの少ない良い環境で使用して通常は約5年程度ですが、ほこりや異物の巻き込みにより、ファンの安定した回転が得られなくなることがあります。

前面アラームランプの点灯で、このファンの異常を検知した場合は、以下の手順で点検、交換を行なってください。

また、システム全体の安定した運用のために、定期的な点検および、寿命時間を目安としたファンの交換をお願いします。

点検方法

1 電源の供給状態を確認します。

保護接地コンタクトを持った3ピンコンセントとこの製品のAC 100V入力端子に電源コードを接続することで電源ユニットにAC 100V 50/60Hzを給電し、各コンバータ用ユニットにはDC 5Vを供給します。各ユニットの電源パイロットランプが緑色点灯しているか確認してください。電源が供給されると各ユニットのファンが回転し、約20秒後に動作が安定します。



ご注意

動作中のファンに指などを入れないでください。
けがの原因となります。

2 各ユニットの前面アラームランプが消灯し、異常音やにおいがしていないことを確認してください。 モータの回転に異常を検知されない場合、前面アラームランプ（赤色）は点灯しません。

3 ①異常が検知されない場合

この点検で、異常が検知されない場合

- (1) この製品の設置状態を確認してください。
(各ユニットの取付位置の上、下から異物が飛び出していないかなど)
- (2) この製品への給電電圧を確認してください。
(電源ユニット：AC 100V±10%以内／コンバータ用ユニット：DC 5V)

②異常が検知された場合

異常が検知されたユニットのファンの交換をしてください。



ご注意

- ・ 交換用ファンは**SFB30C-05A001**です。
ご入用の際は、お近くの当社支店・営業所にご連絡ください。

ファンの交換方法

1 電源の供給を止めます

コンバータ用ユニットの場合、交換するユニットの電源スイッチを切ります。

電源ユニットの場合は、全てのコンバータ用ユニットの電源スイッチを切り、その後に、この製品の電源コードをAC 100V入力端子から抜きます。

2 ユニットを取りはずします

19ページの「ユニットの取り付けと取りはずし」を見て、ユニットを取りはずします。

3 ファン用コネクタをはずします

ユニットの背面にあるファン用コネクタのつまみ部を押さえてロック解除状態にして、接続されているコネクタを引き抜きます。

4 ファンをはずします

ファンを固定している4本のネジをゆるめて、ファンを取りはずします。

5 ファンを取り換えます

新しいファンを取りはずした4本の固定ネジで止めます。（締付トルク：0.9N・m）

6 ファン用コネクタをつなぎます

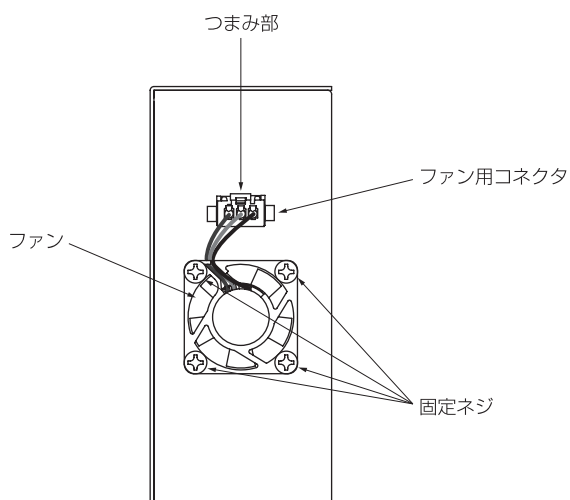
ファン用コネクタを、つまみ部を押さえながら差し込みます。

7 ユニットを取り付けます

ユニットを取りはずした時と逆の手順で17ページの「ユニットの取り付けと取りはずし」を見て、ユニットを取り付けます。（締付トルク：1.4±0.1N・m）

8 電源を供給します

この製品の電源コードを抜いた場合は、AC 100V入力端子に接続し、ロック金具で固定します。その後に、各コンバータ用ユニットの電源スイッチをONにしてください。



コンバータユニット／電源ユニットの背面

接続方法

この製品のデジタル信号入力端子には、UHFアンテナ・UHFブースタからの同軸ケーブルを接続します。
アナログ信号出力端子には、テレビへと続く機器への同軸ケーブルを接続します。
この製品の設定・調整のために、**モニタとなるテレビ1台とAVコードをご準備ください。**

設定方法

この製品を設定するためには、実際にテレビ画面に映像を映して操作する必要があります。
入力チャンネルを設定するときは、設定するコンバータ用ユニット前面の映像端子と音声端子に、AVコードでテレビを接続してください。（音声確認しない場合は、音声端子を使用する必要はありません。）

初期設定

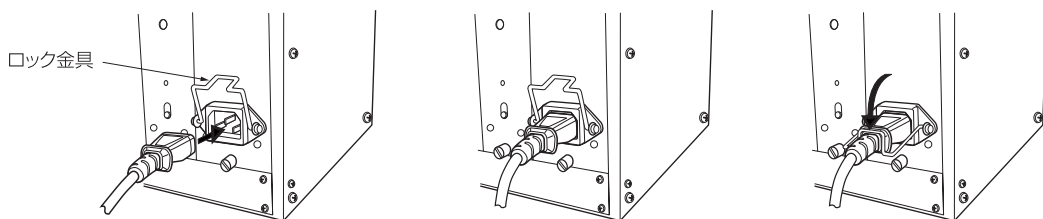
ご購入後はじめてこの製品に電源を供給すると、初期設定案内画面になります。画面の指示に従って操作してください。

また、電源の供給に際しては、必ずつぎの手順通りに行なってください。

<電源の投入とアナログ信号出力チャンネルの設定>

1 まずはじめに、アナログ信号出力の空きチャンネルをスペクトラムアナライザ等を用いて確認しておいてください。この製品は、隣接チャンネル伝送に対応していません。

2 付属の電源コードを、この製品のAC 100V端子に挿入し、ロック金具で固定します。その後、電源コードを保護接地コンタクトを持った3ピンコンセントに挿入してください。

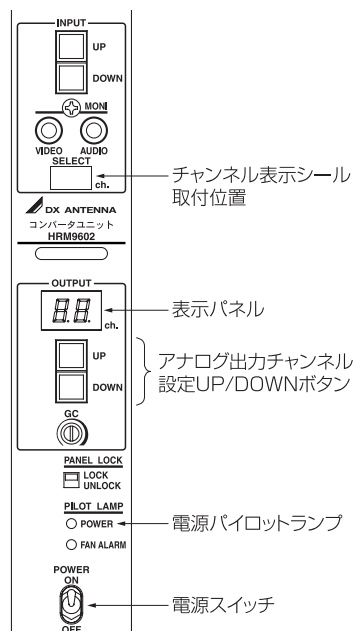


3 各コンバータ用ユニットの電源スイッチをONにします。
それぞれのコンバータ用ユニット前面の電源パイロットランプ（赤）が点灯していることを確認してください。（リモコン操作はまだ行なわないでください。**6**で行ないます。）

4 1台ずつコンバータ用ユニットのアナログ信号出力チャンネルを設定します。
パネル前面下側にある、アナログ出力チャンネル設定UP/DOWNボタンを押して、表示パネルが希望チャンネルの表示になるように設定してください。

5 付属のチャンネル表示シールから、希望するデジタル信号入力チャンネルの番号をはがして、コンバータ用ユニットに貼り付けてください。実際の入力チャンネル設定は、後で行ないます。

6 ここで、リモコンの電源ボタンを押してください。
コンバータ用ユニットの電源パイロットランプが赤色から緑色点灯に変わります。



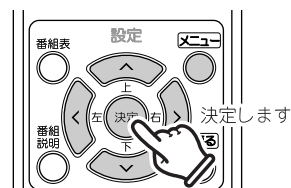
初期設定はコンバータ用ユニットの前面ボタンと付属のリモコンで設定します

初期設定は  ボタンで項目を選び、 ボタンを押して決定します。

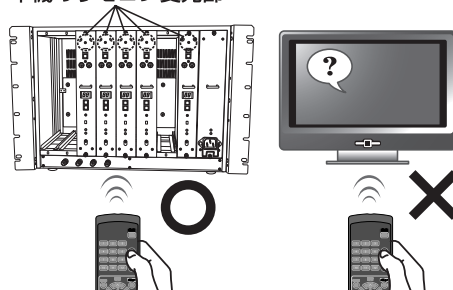
リモコン操作時にご注意ください

- この製品を初期設定するときは、リモコンを必ずコンバータ用ユニットのリモコン受光部に向けて操作してください。
- 全コンバータ用ユニットを同時にリモコン設定するときは、リモコンをコンバータ用ユニットの受光部から50cm程度離して操作してください。リモコンの操作範囲からはずれると操作を受け付けません。（17ページのリモコンの **使いかた** 参照）

リモコンのボタン



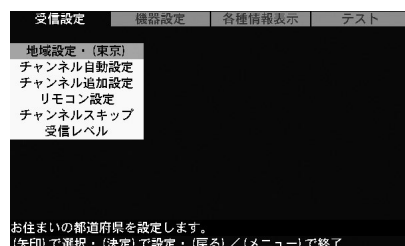
本機のリモコン受光部



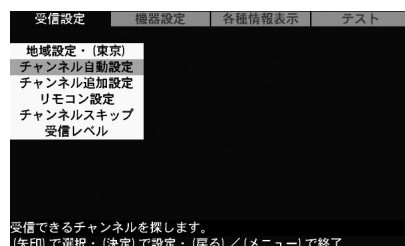
<受信チャンネルの設定>

まずはじめに、この製品設置地域で受信できる放送局を自動検索し、チャンネル設定します。

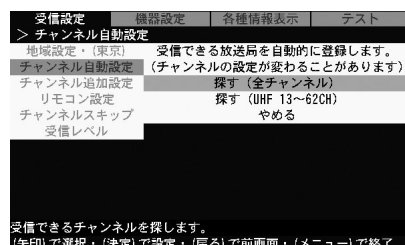
1  ボタンを押し、「設定メニュー」を表示します。



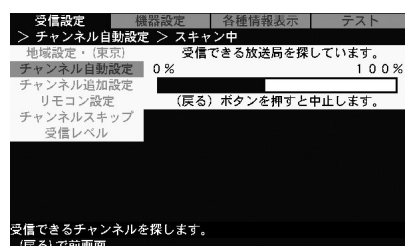
2  ボタンで「チャンネル自動設定」を選び、 ボタンを押します。



3  ボタンで「探す（全チャンネル）」を選び、 ボタンを押します。



4 受信チャンネルの自動設定プログラムがスタートし、画面には現在処理中の状態がグラフ表示されます。
この間に、全てのコンバータ用ユニットが受信チャンネル設定中かどうか確認しますので、速やかに24ページの **5** の手順に進んでください。

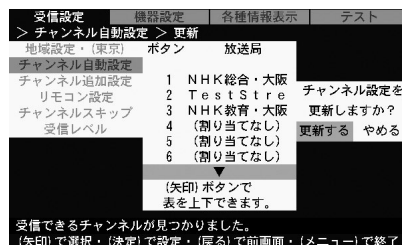


<受信チャンネルの設定（つづき）>

- 5** コンバータ用ユニット1台ずつ前面の映像端子にAVコードでテレビを接続して「チャンネル自動設定 スキャン中」画面が表示されることを確認してください。
- 「チャンネル自動設定 スキャン中」画面が表示されないコンバータ用ユニットがあるときは、処理中のコンバータ用ユニットの設定が終了するまで待ち、設定が終了したユニットのロックスイッチをLOCK側にしてから、再度リモコンを操作して受信チャンネルの設定を行なってください。

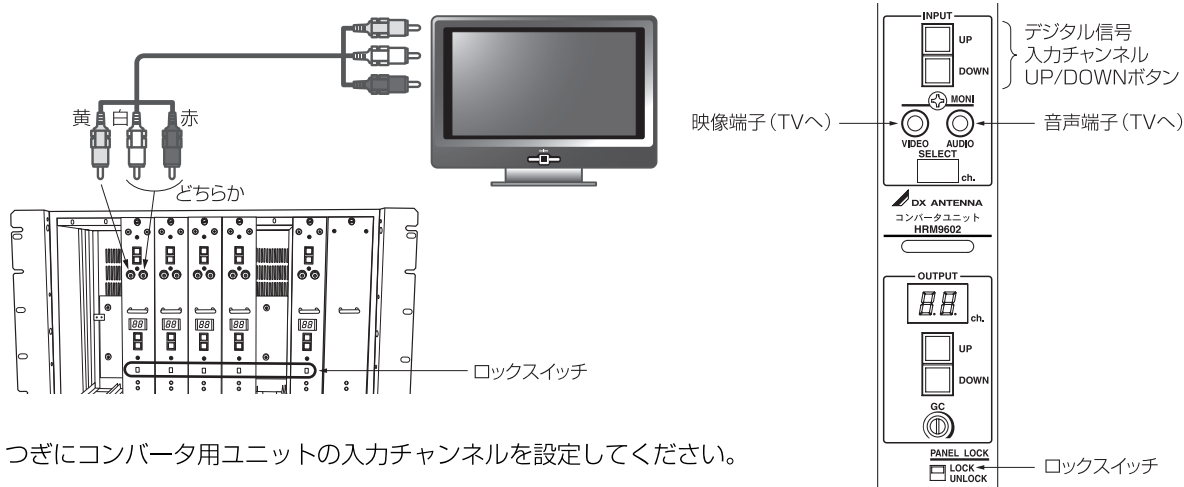
- 6** 受信チャンネル設定が終了すると、 ボタンで「更新する」を選び、 ボタンを押します。 ボタンで放送局の一覧表を確認できます。

- 7**  ボタンを押して、受信チャンネル設定操作を終了します。



お知らせ

- 受信できる放送局が検索されなかった場合、「受信できる放送局が見つかりませんでした。」と表示されます。アンテナの接続をご確認ください。



つぎにコンバータ用ユニットの入力チャンネルを設定してください。

<デジタル信号入力チャンネルの設定>

初期設定終了後、各コンバータ用ユニットのデジタル信号入力チャンネルを設定します。

- 1** 設定するコンバータ用ユニットにAVコードでテレビを接続します。
音声を確認しない場合は、音声端子を接続する必要はありません。
- 2** テレビ画像を確認しながら、コンバータ用ユニットの上側にあるデジタル信号入力チャンネルUP/DOWNボタンで希望のチャンネルに合わせます。（この時設定するユニットのロックスイッチは「UNLOCK」側に、それ以外のユニットのロックスイッチは「LOCK」側にしてください）
- 3** 設定が終わったコンバータ用ユニットは、必ずロックスイッチを「LOCK」側にしてください。
別のコンバータ用ユニットの設定をしているときに、リモコン操作で設定操作が終了したコンバータ用ユニットも誤って操作するのを防ぐためです。
- 4** 次に設定するコンバータ用ユニットにテレビを接続して、**1** ～ **3** の操作を行います。
- 5** すべてのコンバータ用ユニットのチャンネルが設定し終わるまで **4** の操作を繰り返してください。

例

北海道(札幌)

選局ポジション

放送局名

1	←	HBC札幌
2	←	NHK教育・札幌
3	←	NHK総合・札幌
4	←	放送なし(割り当てなし)
5	←	STV札幌
6	←	HTB札幌
7	←	TVH札幌
8	←	UHB札幌

※上記は受信状態の一例です。
お住まいの地域や設定時の電波の強弱などの諸条件
によって受信結果が異なる場合があります。

東京

選局ポジション

放送局名

1	←	NHK総合・東京
2	←	NHK教育・東京
3	←	放送なし(割り当てなし)
4	←	日本テレビ
5	←	テレビ朝日
6	←	TBS
7	←	テレビ東京
8	←	フジテレビジョン
9	←	東京MXテレビ
10	←	放送なし(割り当てなし)
11	←	放送なし(割り当てなし)
12	←	放送大学

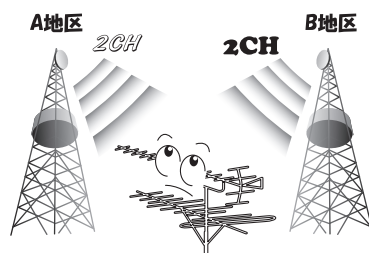
※受信チャンネルの自動設定プログラムは、メニューから「チャンネルの自動設定」を選択決定し、「探す(全チャンネル)」を選択決定すると自動スタートしますが、デジタル信号入力とアナログ信号出力のチャンネル設定はコンバータ用ユニット前面のボタンで操作を行なってください。アナログ出力チャンネルが現在どのように設定されているかは表示パネルで確認できます。

チャンネル自動設定完了前にこの製品の電源コードを抜いたり、コンバータ用ユニットの電源スイッチを「オフ」にした場合は、チャンネル検索されずにチャンネル自動設定を終了し、次回「オン」にしたときに再度初期設定案内画面を表示します。



ご参考

設置地域によっては他地域の地上デジタル放送局の電波が受信できる場合があります。割り当ての選局ボタンが同じ、複数の局を受信した場合、1局以外はボタン表示されません。



お知らせ

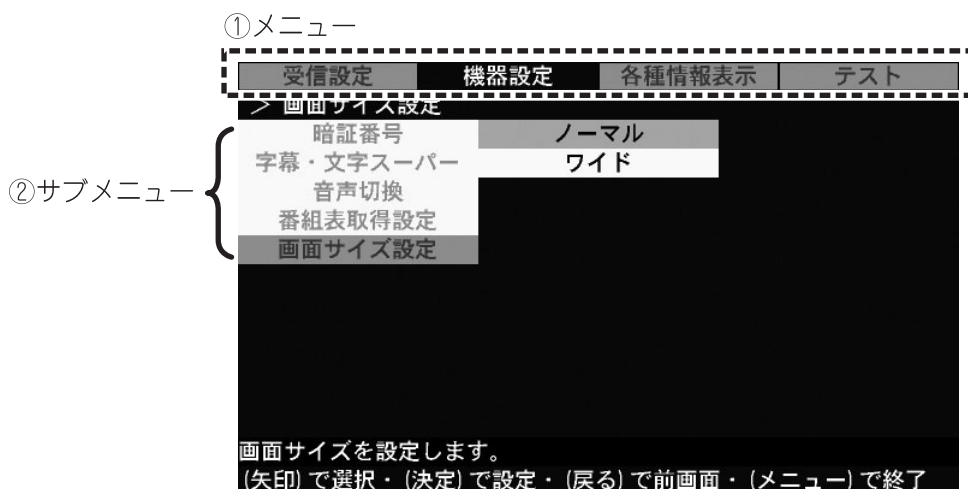
- ご使用の地域で新しく放送が開始された場合、再度同様の操作を行って、受信放送局を追加する必要があります。

メニュー操作（メニュー）

※メニュー画面での設定は、全てリモコンで操作し、テレビ画面で確認します。

- リモコンの  ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。再度押すと元の画面に戻ります。
- メニュー画面では、チャンネル自動設定を行ない画面サイズ設定で「ノーマル」を選択していることを確認してください。
- 項目設定後、初期（工場出荷時）状態に戻したいときは、「全設定消去」を行なってください。設定方法は31ページをご覧ください。
- 何もしない状態が約60秒間続くと画面表示は消えます。  ボタンを押すと再度表示されます。

<メニューの操作と項目設定のしかた>



1 リモコンの  ボタンを押し、メニューを表示させます。

2  ボタンを押し、設定したい第1階層のメニュー（①）を選択します。選択されている項目はアイコンの枠が黄色になります。選択中は左下にそのメニューで設定できる第2階層のサブメニュー（②）が表示されます。

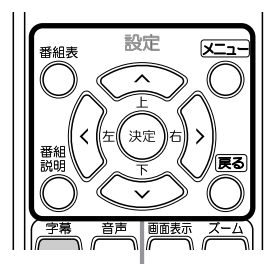
 ボタンを押すと第2階層のサブメニューへ移り、選択項目がハイライト（黄色）されます。

3  ボタンで選択項目のハイライト（黄色）を動かし、第2階層のサブメニューを選択します。

4 第3階層の設定を変更するときは、 ボタンを押し、 ボタンで第3階層以下の設定を変更します。

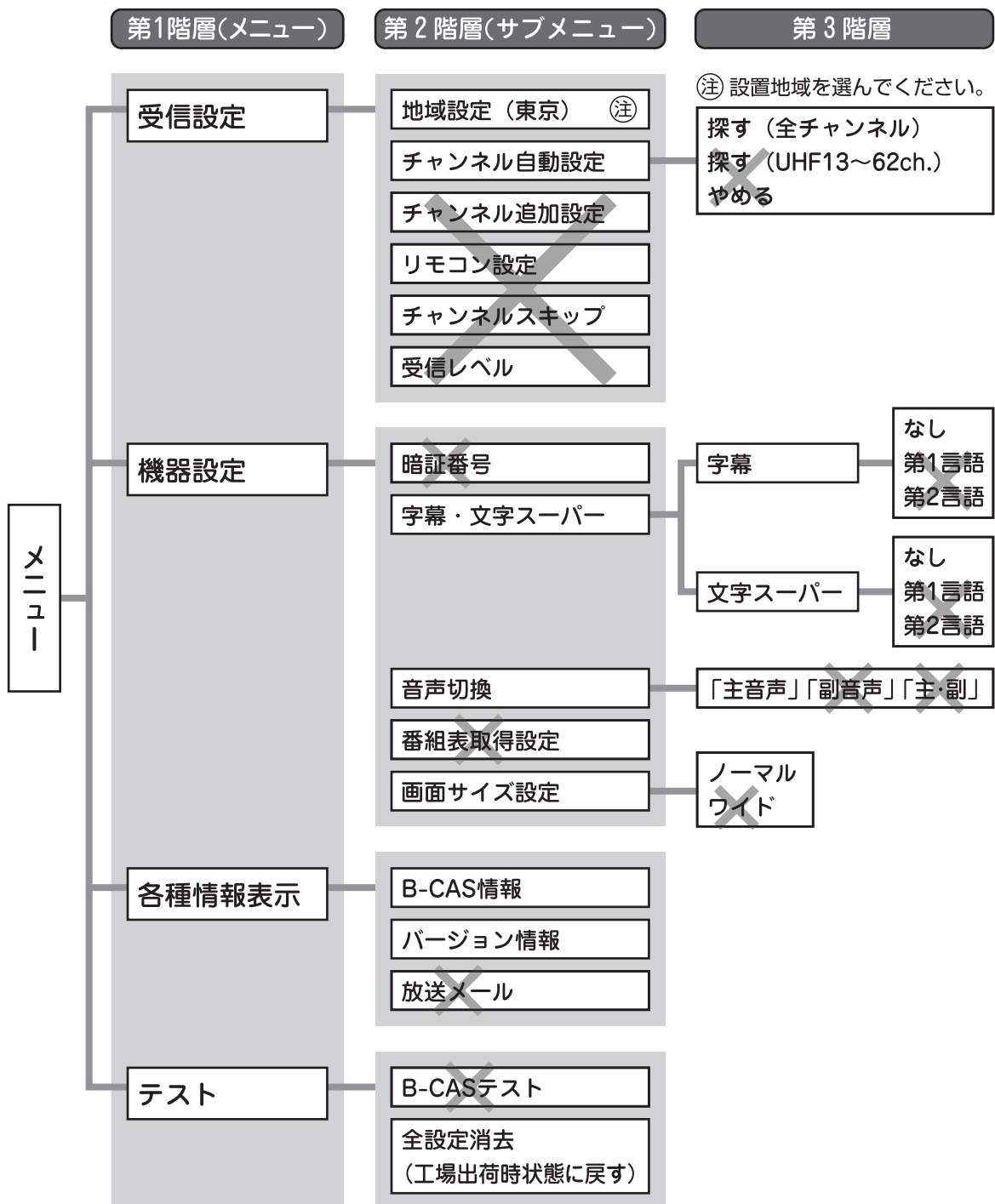
5  ボタンを押し、設定を確定させます。
各設定項目は次ページのメニュー一覧表をご覧ください。
各設定項目はすべて同様の方法で設定が行なえます。

6 操作を終了するときは  ボタンを押します。



メニューの操作・設定はこれらのボタンで行います

<メニュー一覧表>



※~~×~~印の項目は設定しないでください。

この項目を設定した場合は、故障やトラブルの原因となります。

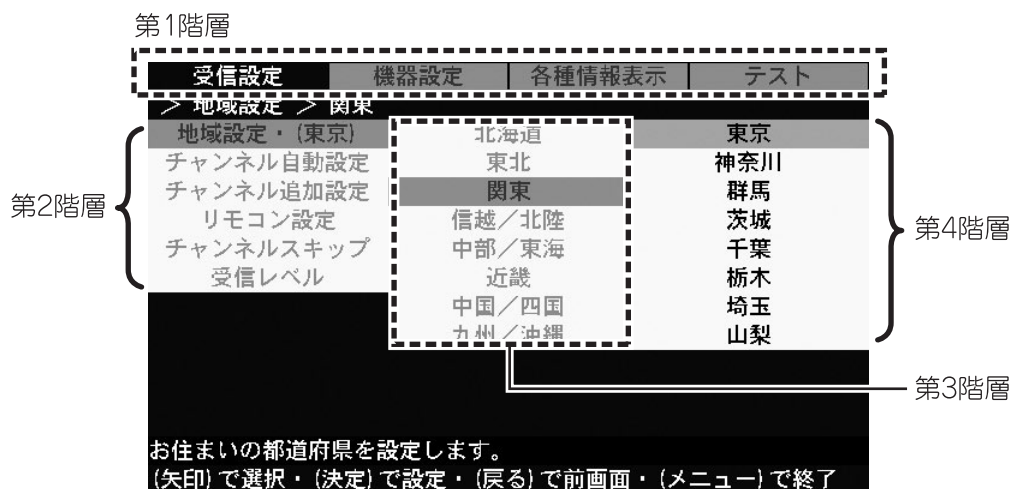
受信チャンネルの設定

※メニュー画面での設定は、全てリモコンで操作し、テレビ画面で確認します。

<地域設定>

ボタンを押して「地域設定」を ボタンで選び、 ボタンを押します。

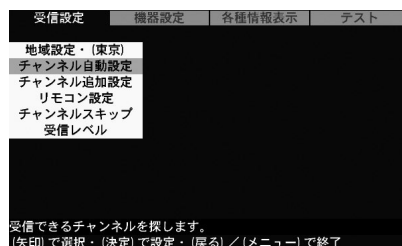
画面左側には第2階層のサブメニューが、右側には第3階層以降のサブメニューが表示されます。



<チャンネル自動設定>

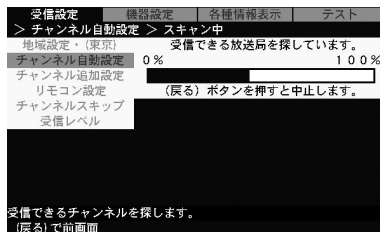
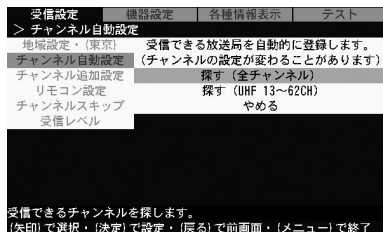
チャンネル自動設定は **初期設定** で完了していますが、再度受信チャンネルの変更が必要な場合は、地域設定とともに下記の要領でチャンネル自動設定を行なってください。各ユニット毎の設定となります。

- ボタンを押します。
- ボタンで受信設定のサブメニューの「チャンネル自動設定」を選択すると右の画面が表示され、チャンネル自動設定の実行・中止を選択できます。



- ボタンで「探す (全チャンネル)」を選択し、 ボタンを押すと受信チャンネルの自動検索を開始します。

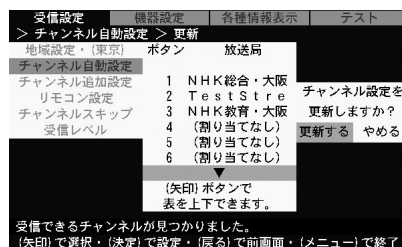
※検索が始まると中止はできません。



- 検索が終了すると、放送局の一覧が表示され、 ボタンで確認できます。

- ボタンで「更新する」を選び、 ボタンを押すとチャンネルが確定し、リモコンのチャンネル (数字) ボタンに放送局が自動的に割り当てられます。

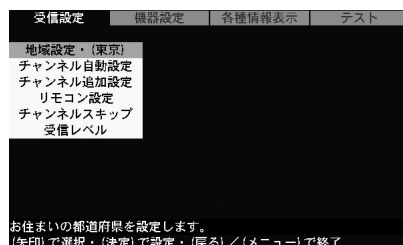
- ボタンを押してメニューを終了します。



<チャンネル割り当て変更設定>

チャンネル自動設定により、ボタン割り当てが同じ複数の局を受信した場合、うち1局はボタン表示部分にーと表示され、選局することができません。空いている任意のボタン数字を設定して、受信した各チャンネルにボタンを割り当て、選局できるようにします。また、割り当てられているボタン数字を変更する場合にも以下の操作を行います。

1  ボタンを押して「設定メニュー」を表示します。



2  ボタンで「受信設定」サブメニューの「リモコン設定」を選び、 ボタンを押します。



3  ボタンで空いている数字(変更したいチャンネルの数字)を選び、 ボタンを押します。



4  ボタンで変更したい放送局を選びます。



5  ボタンを押し、設定を完了させます。

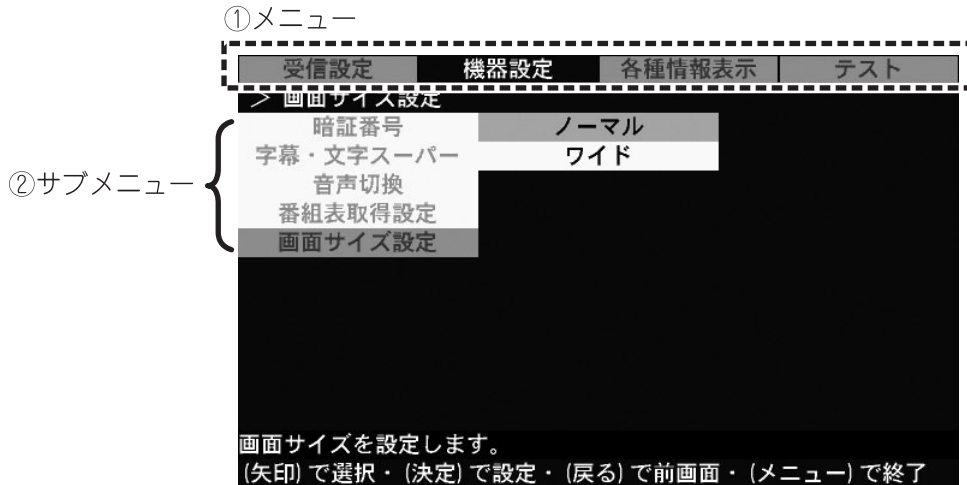
6 さらにボタン割り当て変更を続ける場合、**3**～**5**を繰り返します。

7  ボタンを押してメニューを終了します。

各種設定

※メニュー画面での設定は、全てリモコンで操作し、テレビ画面で確認します。

メニューボタンを押して、第1階層のメニュー画面で設定項目を(決定)ボタンで選び、(決定)ボタンを押します。画面には第2階層のサブメニューが表示されます。(決定)ボタンでサブメニューを選び、(決定)ボタンを押します。



<機器設定>

設定画面が表示されますが、設定変更は「字幕・文字スーパー」のみです。必ず「第1言語」を「なし」に設定変更してください。

※ここでの設定が全てのテレビに反映されますので、基本的にその他の機器設定は変更しないでください。

(決定)ボタンで選択し、設定内容確認後は(決定)ボタンを押します。

暗証番号

初期設定は「9999」です。変更しないでください。暗証番号を変更するとメンテナンス上支障をきたす場合があります。

音声切替

「主音声」です。

字幕・文字スーパー

字幕・文字スーパーの「第1言語」を「なし」に変更してください。

番組表取得設定

設定画面が表示されますが、設定しても反映されません。

画面サイズ設定

「ノーマル」になっていることを確認してください。

<各種情報表示>

B-CAS情報

B-CASカードID番号を表示します。

バージョン情報

ソフトウェアのバージョンを表示します。

<テスト>

全設定消去

各種設定を工場出荷時の初期状態に戻します。操作時に暗証番号を入力します。（暗証番号は「9999」です）正しい暗証番号でなければ設定を初期状態に戻すことができません。

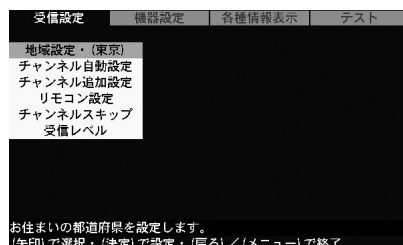
<全設定消去（工場出荷設定）>

この製品の設定を工場出荷時の状態に戻すためには以下の操作を行ってください。

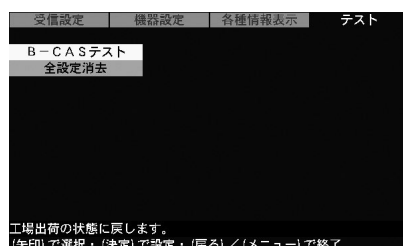
！ ご注意

- 初期化中は、絶対に電源をOFF状態にしないでください。
- 初期化中はすべてのボタン操作ができません。

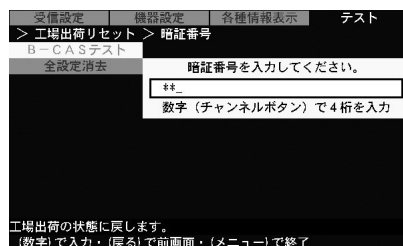
- 1**  ボタンを押して表示した第1階層のメニュー画面で「テスト」を  ボタンで選び、 ボタンを押します。
画面左側には第2階層のサブメニューが表示されます。



- 2**  ボタンを押し、「全設定消去」を選択します。

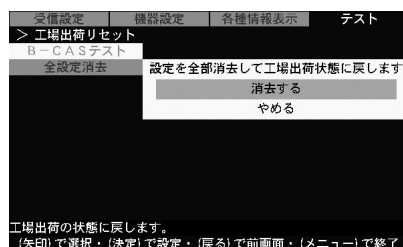


- 3**  ボタンを押すと、暗証番号入力画面が表示されます。
工場出荷時の暗証番号は「9999」ですので9999と入力してください。



- 4**  ボタンで「消去する」を選択し、 ボタンを押すと初期化を開始します。

- 5**  ボタンを押して操作を終了します。



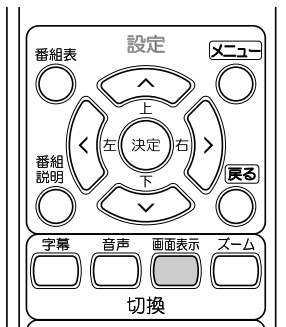
お知らせ

- 手順**3**で入力した暗証番号が、設定されている暗証番号と一致しない場合、「暗証番号が違います」とメッセージが表示されます。手順**2**から操作し直して、暗証番号を入力し直して下さい。
- 手順**4**で「やめる」を選択すると、初期化を実行せずに「全設定消去」を終了します。

画面表示

<番組名・放送局名・チャンネル番号を表示する（画面表示）>

画面表示ボタンを押すと、現在受信中の番組名・放送局名・チャンネル番号が表示されます。
チャンネル設定が完了すると、画面表示は消して、通常使用してください。



画面表示  ボタンを押します

受信中のチャンネル番号や番組名などの情報が表示されます。

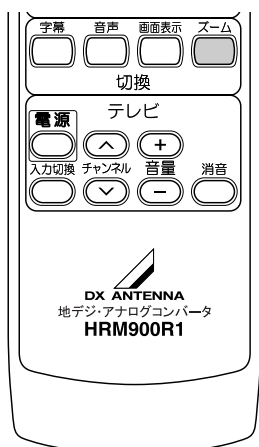


もう一度  ボタンを押すと番組内容表示が消えます。
表示は約5秒後に自動的に消えます。

※通常使用時は、画面表示しないことをおすすめします。

<ズーム画面表示>

表示画面をズーム（拡大）表示することができますが、字幕スーパーが表示されなくなりますので、ノーマル表示に設定してください。

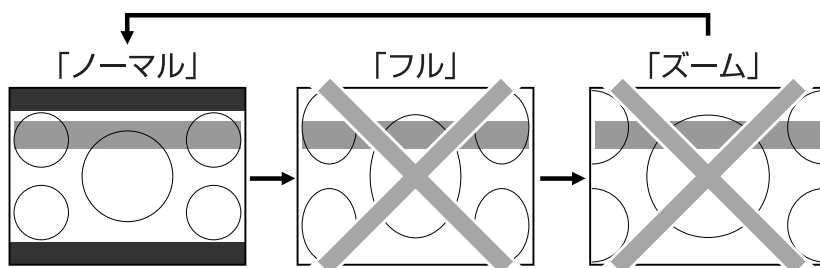


 ボタンは押さないでください

 ボタンを押して操作する「画面サイズ設定」を変更するのと同じ設定になり全てのテレビに反映されてしまいます。

ご参考

- ズーム表示はチャンネルを変えたり、電源を切るとノーマル表示に戻ります。



「ノーマル」：元の映像（16：9）の上下に黒帯をつけて表示します。

通常（4：3）のテレビの場合に、元の映像の縦横比が守られます。

「フル」：元の映像（16：9）を上下に引き伸ばして画面全体に表示します。

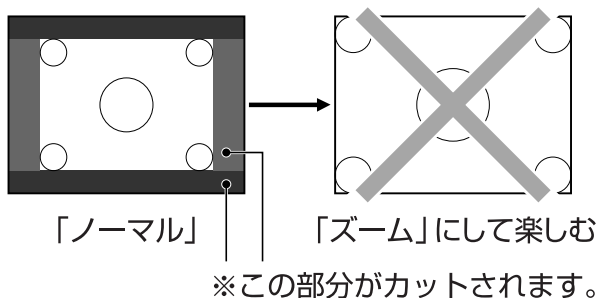
通常（4：3）のテレビの場合に、縦長の映像になります。

「ズーム」：元の映像の中央部分を上下左右に引き伸ばします。

※「ワイド」を選んだ場合は、 ボタンを押しても画面サイズは切り換わりません。

16：9映像で左右に映像がない、または、黒帯のある映像の場合

「ズーム」を選択していただくと、映像部分が拡大して表示されます。



調整方法

- この製品の出力モニタ端子に、レベルチェッカなどを接続するとアナログ信号の出力レベルを測定できます。この端子では、出力レベルより20dB低い値でモニタできます。
- 各コンバータ用ユニットのGCボリュームの操作で、0～-10dBの範囲で出力レベルを調整することができますので、システムによって出力レベルを調整してください。

標準出力レベル……………85dB μ V

標準出力モニタレベル…65dB μ V



！ ご注意

- GCボリュームは、調整用ドライバで軽く回してください。強く回すとボリュームが破損する恐れがあります。

- 1** 出力モニタ端子にレベルチェッカなどを接続します。
チェッカーをアナログ信号の出力チャンネルに設定します。
 - 2** GCボリュームの操作でモニタレベルが65dB μ V（標準出力レベル85dB μ V）以下になるように調整します。
※GCボリュームは0～-10dBの範囲で出力レベルを調整できます。反時計方向いっぱいに戻しきった時、レベル最小となります。
- 既存システムのUHFブースタを調整する必要があります。
UHFブースタの入出力レベルを測定し、この製品を組み込んだ新しいシステムに合わせてブースタ等の調整をしてください。お近くの当社支店・営業所にご相談ください。

規格とブロックダイヤグラム

規格

地デジ・アナログコンバータ用サブラック HSR9116 (コンバータ用ユニットHRM9602 8台実装時)

項 目	仕 様	備 考
使用チャンネル (ch.)	13~62	
入 力 レ ベ ル (dBμV)	60~85	
入 力 モ ニ タ (dB)	-15	
最大実装チャンネル (波)	8	
出力チャンネル (ch.)	13~62	UHF帯
出 力 レ ベ ル (dBμV)	85 (アナログ: 8波混合レベル)	
出 力 モ ニ タ (dB)	-20	
入出力インピーダンス (Ω)	75	
耐 雷 性 (kV)	±15 (1.2/50μs)	電源入力端子、信号入出力端子
使用温度範囲 (°C)	-10~+40	結露なきこと ファン: 対応年数約5年※
入力電源電圧 (V)	AC100±10%	50/60Hz
出力電源電圧 (V)	DC+5	
消費電力 (W)	約45±10% (8波実装時)	
外形寸法 (mm)	295 (H) × 400 (W) × 200 (D)	突起物壁面取付、標準ラック収容可能
質 量 (kg)	11	23 (HRM9602 8台実装時)

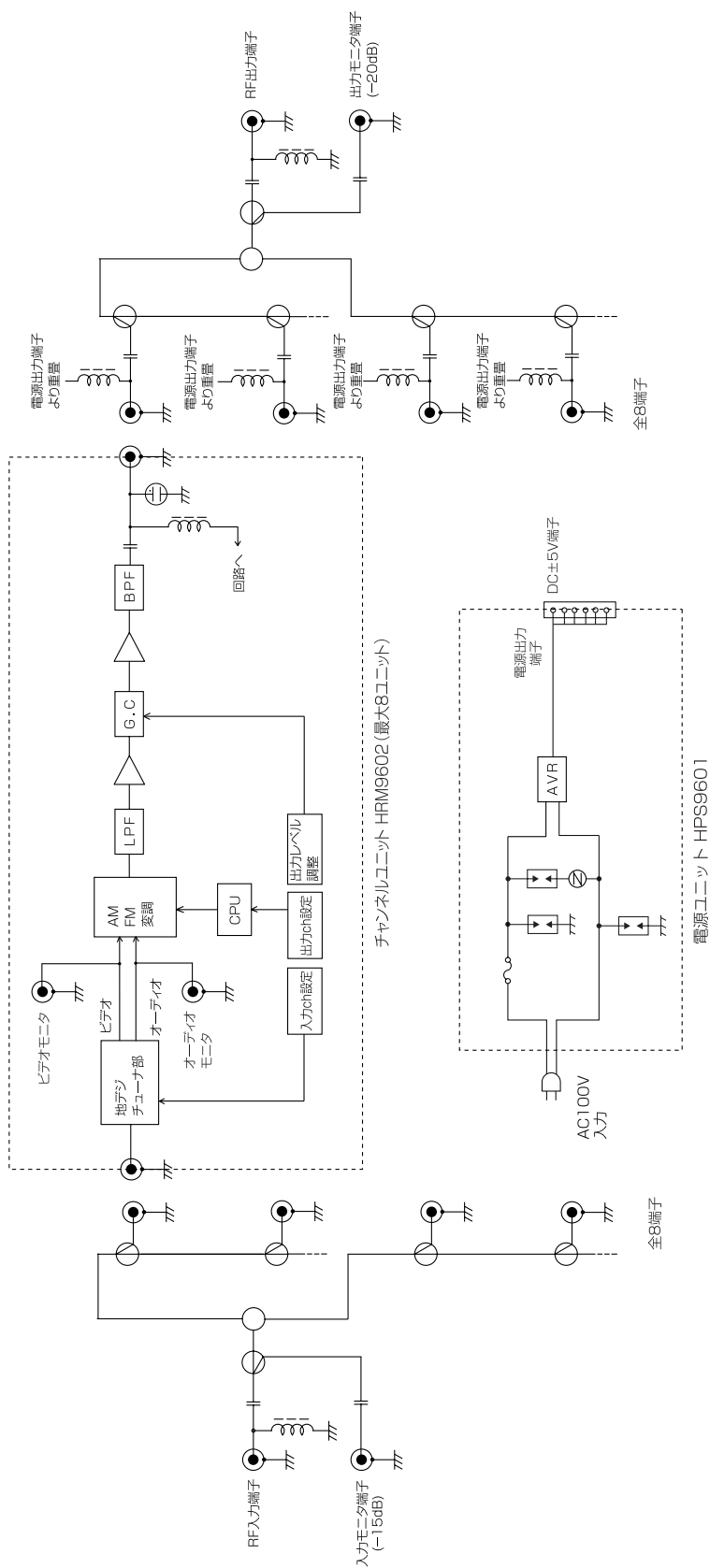
コンバータ用ユニット HRM9602

項 目	仕 様	備 考
入 力 信 号	ISDB-T OFDM	
入力チャンネル (ch.)	13~62	
入 力 レ ベ ル (dBμV)	60~85	HSR9116に装着時
出 力 信 号	NTSC	音声モノラル
出力チャンネル (ch.)	13~62	UHF帯 (隣接チャンネル伝送不可)
出 力 レ ベ ル (dBμV)	105以上	ユニット単体
出力レベル調整範囲 (dB)	0~-10以上	
入出力インピーダンス (Ω)	75	
使用温度範囲 (°C)	-10~+40	結露なきこと ファン: 対応年数約5年※
動作電源電圧 (V)	DC+5	
消費電流 (A)	0.8	
外形寸法 (mm)	233 (H) × 34 (W) × 158 (D)	突起物含まず
質 量 (kg)	1.5	

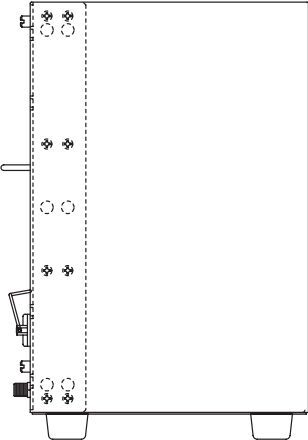
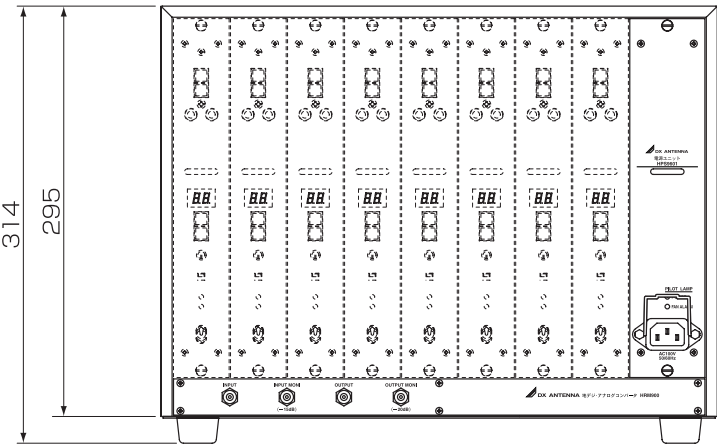
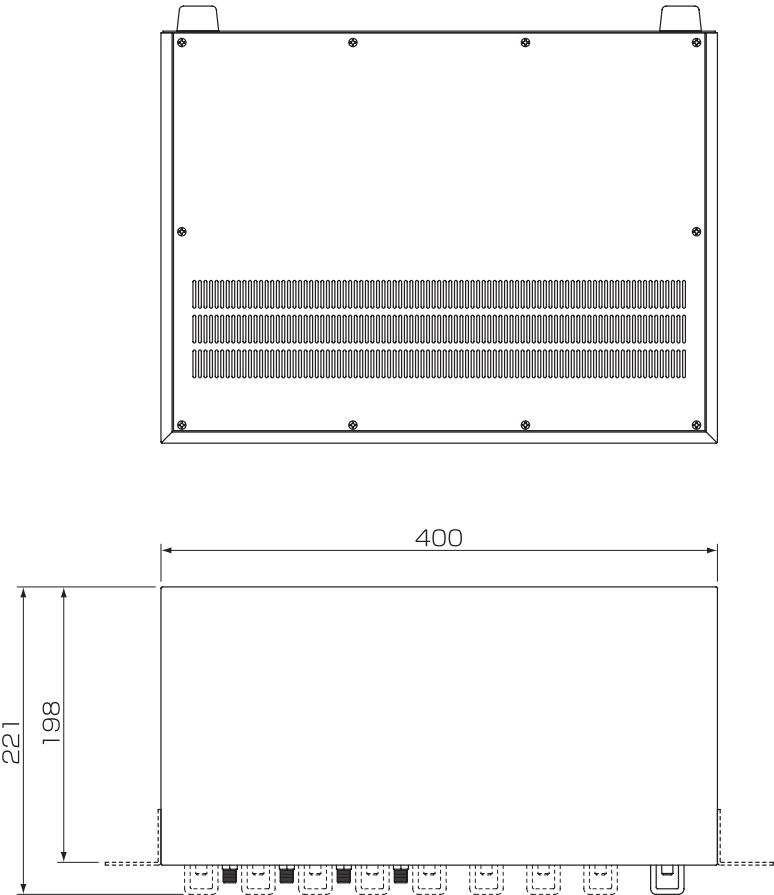
※ほこりの少ない良い環境の場合

規格および外観は改良により変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

ブロックダイアグラム



外觀圖

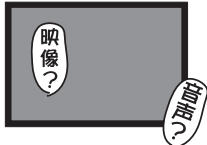


参考

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。

次のことを調べても、なお異常があるときは、最寄りの当社・支店・営業所にご相談ください。

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
映像も音声も出ない 	●電源コードが正しく接続されていますか？ ●アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？ ●アンテナおよび各機器の接続は正しいですか？ ●各種設定は正しいですか？	22 6～7、40 6～11、34 22～25
特定のチャンネルが映らない	●電波状態が悪いことが考えられます。 ●アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？ ●アンテナの向きがずれていませんか？ ●アンテナケーブルは正しく接続されていますか？ ●受信チャンネルは正しく設定されていますか？	6～7、34、40 6～7、40 6～7、22、40 8～11、22、40 23～24、28
映像が横長や縦長になる 	●画面サイズ設定が「ノーマル」に設定されていますか？ ●リモコンの  ボタンを押していませんか？	23、30 33
映像がモザイク状になる 	●電波状態が悪い場合が考えられます。 ●アンテナの向きがずれていませんか？ ●アンテナの前に障害物はありませんか？ ●アンテナおよびアンテナケーブルは適切な仕様のものをお使いですか？	6～7、34、40 6～7、40 40 6～7、40
リモコンが動作しない 	●リモコンの乾電池は正しい向きで入っていますか？ ●リモコンの乾電池が消耗していませんか？ ●蛍光灯の強い光や直射日光がリモコン受光部に当たっていませんか？ ●リモコンは本体のリモコン受光部に向けてご使用ください。	17 17 17 17

- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。このようなときは一度電源コードをコンセントから抜き、数分後、再度コンセントに差し込み、電源を入れてご使用ください。

エラーメッセージ

画面に以下のエラーメッセージが表示された場合は、放送を視聴できません。

メッセージ	内容
「このボタンはチャンネル登録されていません」	放送局が登録されていないリモコン番号を押したときに表示されます。 「チャンネルスキップ」を設定したチャンネルボタンを押した場合もこのメッセージが表示されます。
「このチャンネルは受信できません」	非放送番組を選局したときに表示されます。
「受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください」	受信レベルが低下し、受信できないときに表示されます。 アンテナケーブルが正しく接続されていないときにも表示される場合があります。
「このチャンネルは放送されていません」	選局したチャンネルが「休止中」だったときに表示されます。
「B-CASカードを確認してください」	B-CASカードが認識されていないときに表示されます。
「データ取得中です。しばらく待って操作してください」	受信状態などにより、番組情報が取得できなかった場合に表示されます。
「（メニュー）ボタンを押してチャンネル設定を行ってください」	地上デジタル放送の受信設定（23、24ページ）を行っていないときや、「全設定消去」を行なったときに表示されます。
「緊急放送が始まりました。（決定）ボタンで切り換えます」	緊急放送が始まったときに表示されます。 決定ボタンを押すと、緊急放送を実施しているチャンネルに切り換わります。
「受信できないチャンネルがあれば、チャンネル設定を行ってください」	該当（お使いの）地域において、チャンネル周波数変更などが実施されるときに表示されます。
「ソフトウェアのアップデートが実施されます。 xxxx年xx月xx日xx時xx分の前後30分は待機状態にしてください」	自動ダウンロードの機能はありません。ソフトウェアの更新などダウンロードする必要が生じたときは、当社の支店・営業所が対応いたします。

注意事項

- 地上デジタル放送を受信するためには対応したUHFアンテナが必要です。
設置および接続が正しく行なわれていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、電波が弱い場合などは受信できなかったり、特定の放送局しか受信できないなど障害が発生することがあります。設置業者等にご相談の上、最良の電波状態となるようにアンテナを設置してください。
- 地上デジタル放送局からの送信出力が増大されたときは、アンテナやブースタなどの受信設備の再調整や変更が必要になることがあります。
- この製品の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、この製品やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。これらの機器とは離してご使用ください。
- この製品には自動ダウンロード機能はありません。ソフトウェアの更新などダウンロードする必要があるときは、当社の支店・営業所が対応いたします。
- 国外でこの製品を使用して有料サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- 取扱説明書のイラスト・画面表示などは説明を目的としているため、実際と異なる場合があります。

機器実装用B-CASカード使用に伴う「契約・登録」について

受信機器に実装されているカードの使用にあたっては「B-CASカード使用許諾契約約款（機器実装用）」（以下「約款」といいます）に同意し、「契約・登録書」に記名・捺印の上、届出（ユーザー登録：約款第3条参照）して頂く必要がありますので、事前に添付の約款を必ずお読み下さい。

1. ユーザー登録について

- 1) B-CASカードは、デジタル放送の番組の著作権保護や有料放送の視聴に利用されており、デジタル放送サービス（無料放送、有料放送、NHK、他）を受信するために、必要となります（約款第1条参照）。
- 2) B-CASカードは、複数の放送事業者が共通に利用しており、カードの運用管理、カード交換時の放送事業者の連携（鍵明け変更）等が必要となります。従ってカードの使用にあたっては、B-CASシステム（方式）を統括的に運用管理している(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに**必ずユーザー登録をして下さい（約款第3条参照）**。なお、ユーザー登録は無料です。
- 3) ユーザー登録は、本書に添付された「**契約・登録書**」に**記名・捺印の上、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに直接送付するか、又は保守事業者等を経由して送付する**方法により行います（約款第3条参照）。
- 4) 登録者情報は、デジタル放送の受信契約等の判断資料として、下表の放送事業者に提供します。NHKには全カードの使用者、有料放送事業者には「特定業務用カード」の使用者の登録者情報が提供されます。なお、ユーザー登録は有料放送の契約やNHKの受信契約とは違いますので、これ等の受信契約は**カード使用者が個別に夫々の放送事業者と契約等**を行ってください。

BS/CSデジタル放送（事業者）一覧（順不同）

BSデジタル放送	・ NHK（地上デジタル放送を含む） ・ BS日テレ ・ BS朝日 ・ BS-i ・ BSジャパン ・ BSフジ ・ WOWOW ・ スター・チャンネルBS 他
110度CSデジタル放送	・ スカイパーフェクト・コミュニケーションズ 他
その他の事業者名は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのホームページ（ http://www.b-cas.co.jp ）を参照して下さい。 またはカスタムセンター（TEL：0570-000-250）にお問合せ下さい。	

2. カードの使用にあたっての注意事項（詳細は約款を参照してください）

- 1) 受信機器に実装されているカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに帰属しています。(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズは約款に従って、使用者にカードを貸与（使用許諾）します（約款第2条参照）。
- 2) カードの使用にあたっては、使用者の責任で関係する法令や規約等（著作権法、放送法、有線テレビジョン放送法、不正競争防止法、各種受信契約等）を遵守してください。
- 3) カードは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに届け出された業務用途（目的内使用）以外には使用することはできません（約款第2条参照）。
またカードを、一般視聴者の受信機器等に使用させることもできません（約款第10条参照）。
- 4) 「カード」には、有料放送の受信契約が出来ない「**業務用カード**」と、有料放送の受信契約が可能な「**特定業務用カード**」の2種類がありますので、カードの種別を確認して下さい（約款第2条3項及び4項参照）。

業務用B-CASカード使用許諾契約約款（機器実装用）（KB0021A）

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」という）は、地上デジタルテレビジョン放送、BSデジタル放送および110度CSデジタル放送等（以下「デジタル放送」という）を受信するために、お客様がこの約款の内容に同意される場合に限り、業務用デジタル放送受信機器に実装されたICカード（B-CASカード）（以下「カード」という）をお客様が使用することを許諾します。当社は、お客様がこの約款に同意し、添付の「業務用B-CASカード（機器実装用）」契約・登録書（以下「契約・登録書」という）に記名・捺印したときに「業務用B-CASカード使用許諾契約」（以下「本契約」という）が成立したものとみなしますので、事前にこの約款を必ずお読み下さい。

なお、業務用デジタル放送受信機器に実装されるカードには、有料放送の受信契約が出来ない「業務用カード」と、有料放送の受信契約が可能な「特定業務用カード」の2種類がありますので、お客様は本約款に規定された夫々の使用許諾条件に従って使用してください。

第1条（カードの使用目的）

カードは、デジタル放送受信機器を制御する集積回路（IC）が内蔵されており、デジタル放送の番組等の著作権保護や有料放送の視聴に利用されています。カードは、デジタル放送の無料放送、有料放送、NHK、メッセージ表示機能、およびデータ放送等の各種デジタル放送サービス（以下「放送サービス」という）を受信するために必要となります。

第2条（カードの所有権と使用許諾）

カードの所有権は、B-CASシステム（方式）を統括的に運用管理する当社に帰属します。

2. 本契約に同意したお客様（以下「使用者」という）は、本契約に基づき、以下の各号に掲げる特定の業務用途の受信機器のためにのみ、カードを使用することができます（以下「目的内使用」という）。

- ① ホテル・旅館・病院等の業務用のデジタル放送受信機器
- ② レンタル・リース等の業務用のデジタル放送受信機器
- ③ 当社が特に使用を認めた業務用のデジタル放送受信機器
- ④ 前各号のフィールドメンテナンスのための用途

3. 「業務用カード」が実装された受信機器を利用する使用者は、当該カードで有料放送の受信契約をすることはできません。

4. 「特定業務用カード」が実装された受信機器を利用する使用者は、有料放送事業者の許諾が得られた場合に限り、当該カードで有料放送（pay・per・ビュー放送を含む）の受信契約をすることができます。

5. 使用者は、カードを本条第2項の業務用途の受信機器に使用するにあたっては、使用者の責任で関係する法令や規約等（例えば著作権法や放送法、各種受信契約等）を遵守してください。

第3条（ユーザー登録等）

当社が、使用者を特定することにより、カードのシステムの安全性確保および放送サービスの向上を図るとともにカードのバージョンアップ等に関する業務を円滑に行うため、使用者は、当社に直接、または、受信機器の製造会社、販売会社もしくは保守事業者（以下総称して「保守業者等」という）を経由して、記名・捺印した契約・登録書を当社に送付することにより、使用者の届出（以下「ユーザー登録」という）をしなければなりません。また使用者は、受信機器をリース契約等により第三者の所有権の基で使用する場合には、当社に届出をしなければなりません（以下これらの全ての情報を「登録者情報」という）。

2. 使用者は、本契約締結後、住所変更、その他の事由等により登録者情報に変更が生じた場合は、直ちに当社へ直接または保守業者等を通じて連絡しなければなりません。

3. 当社は、前項による登録者情報を、このカードの使用者の真正な情報とみなします。

4. 当社が限定受信システム（CAS）やカードの利用を認めたデジタル放送の放送事業者やプラットフォーム事業者（以下「放送事業者」といい、具体的な放送事業者名は当社のホームページを参照）に対して、使用者がカードの使用に関する連絡をした場合、当該放送事業者から当社へ使用者の情報（ID番号、氏名又は法人名、生年月日、住所、電話番号等）が書面又は電子的方法により通知される場合があります。その場合、当社は通知された情報に基づいて使用者のユーザー登録を行います。

第4条（登録者情報の管理）

当社は、登録者情報を別に定めるガイドラインに従って厳格に管理します。

2. 当社は、デジタル放送の受信契約等の判断資料として、「特定業務用カード」の使用者の登録者情報（ID番号、氏名又は法人名、生年月日、住所、電話番号等）を書面または電子的方法により放送事業者に提供します。

3. 当社は、「業務用カード」の使用者であっても当社が放送事業者の運用管理に必要と認めた場合は、当該放送事業者に当該登録者情報を書面または電子的方法により提供します。

4. 当社は、当社が業務用受信機器の販売・保守運用管理に必要と認めた場合は、保守業者等に当該登録者情報を書面または電子的方法により提供します。

第5条(カードの管理等)

使用者は、受信機器に実装されたカードの紛失、盗難および破損することのないよう十分注意(善良な管理者の注意)をしなければなりません。

2.使用者は、カードが目的内使用以外には使用されないよう十分注意をしなければなりません。

3.当社は放送の受信その他受信機器を用いて行われる全ての操作が使用者によって行われたものとみなし、カードの第三者による不正利用等の事故により損害が生じて、当社は一切の責任を負いません。

第6条(カードの故障等)

使用者は、カードに起因すると推測される受信障害等が発生した場合は、保守業者等に連絡してカード交換等の保守・サービスを受けてください。

2.当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、放送サービス等が受信できないことによる損害または保守業者等による保守・サービス等の費用が生じて、当社はその責任を負いません。

第7条(カードの破損、紛失、盗難等)

使用者は、受信機器またはカードの破損、紛失または盗難等にあった場合は、直ちに直接または保守業者等を通じて当社に通知し、当社の指示に従ってください。当社がこの通知を受理した場合には、当社は当該カードを無効とする手続きを行います。

2.使用者は、紛失または盗難等により新たなカードが実装された受信機器を設置した場合は、第3条の規定に基づき新たにユーザー登録をしてください。

第8条(カードの交換依頼等)

カードの不具合やシステム変更(バージョンアップ)等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、当社は直接または保守業者等を通じて使用者にカードの交換を依頼することがあります。

第9条(不使用となったカードの処置等)

使用者は、使用しなくなった受信機器またはカードがある場合には、直接または保守業者等を通じて当社に通知し、当社の指示に従ってください。

2.使用者は、本契約に基づく受信機器に実装された全てのカードを使用しなくなり、直接または保守業者等を通じて当社に通知し受理された場合には、この契約は終了します。

第10条(禁止事項等)

使用者は、このカードを当社が認めた業務用途(目的内使用)以外には使用することはできません。また使用者は、カードを一般視聴者の受信機器等に使用させることはできません。

2.使用者は、カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。

3.使用者は、このカードの使用にあたって、関係する法令や規約等(例えば放送法、有線テレビジョン放送法、著作権法、不正競争防止法、各種受信契約等)に違反して使用することはできません。

4.使用者は、カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

5.使用者は、事前に当社の許諾を受けた場合以外は、カードを譲渡その他方法のいかんを問わず、第三者に使用させることはできません。ただし、第2条に規定する目的内使用に付随して、第三者がカードの実装された受信機器によりデジタル放送を視聴することは、本条項の禁止する第三者によるカードの使用に該当しません。

第11条(契約違反)

使用者が本契約に違反(例えばユーザー登録、法令違反、目的内使用以外の使用、カードの複製、分解、変造、翻案、カードの譲渡等)した場合、当社は本契約を解除し、使用者に対し、当該カードの返却を求めるほか、当社が被った損害の賠償を請求することができます。

第12条(免責事項)

当社は、この約款に別段の規定のある場合のほか、カードの使用に関して発生する使用者の損害について当社に故意または重大な過失のある場合を除き、一切の責任を負いません。

第13条(契約約款の変更)

この契約約款は変更することがあります。この契約約款の変更事項または新契約約款については、当社が別に定める方法で周知します。

「業務用B-CASカード（機器実装用）」契約・登録書 (KB0021A)

私は「業務用 B-CASカード使用許諾契約約款（機器実装用）」(KB0021A)に同意し、以下の通り「ユーザー登録」を行います。

【業務用カードの用途等】

「業務用カード」に✓印を入れてください

カード総枚数 カードの種別	() 枚	☒ 「業務用カード」 (有料放送契約は不可) ☐ 「特定業務用カード」 (有料放送契約が可能)
カードID番号帯 (詳細は次頁に記載)	0000- - - - から 0000- - - - まで	
用途区分 (□欄にチェック)	☐ ホテル・旅館・病院等の業務用のデジタル放送受信機器 ☐ レンタル・リース等の業務用のデジタル放送受信機器 ☒ 当社が特に使用を認めた業務用のデジタル放送受信機器 () ☐ 前各号のフィールドメンテナンスのための用途	
具体的用途 (具体的な使用状況等)	(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのことです	
使用機器名 (カードを実装した機器)	(メーカー名) DXアンテナ (機器名称) 地デジ・アナログコンバータ (型名・型式) HRM900□	
機器の設置場所 (レンタルの場合は 「使用者」を記入)	(会社名) } (住所) 〒 } 設置場所を記入してください (設置場所) }	
保守事業者 (実装機器の保守 サービス業者)	(会社名) } (住所) 〒 } 保守を行なう事業者を記入してください (所属等) } (担当者) } (電話番号)	
機器の所有者	☐ 使用者、 ☐ リース業者、 ☐ その他 () (具体的所有者名:) 所有する属性に✓印を入れてください	

【契約者名】 (「使用許諾契約約款」への契約者。個人の場合は「生年月日」も記入のこと)

(契約日) : 平成 年 月 日

(住所) : 〒 -

(会社名) : (フリガナ)

(契約者) : (役職・氏名を記入)

印

(連絡者) : (E-mail) : @

(部署名) : (電話番号) : - -

(送付先: 〒100-8693 東京中央郵便局 私書箱1356号 (株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ)

記入した登録書を送るあて先です

「業務用B-CASカード（機器実装用）」契約・登録書 (KB0021A)

私は「業務用 B-CASカード使用許諾契約約款（機器実装用）」(KB0021A)に同意し、以下の通り「ユーザー登録」を行います。

【業務用カードの用途等】

カード総枚数 カードの種別	() 枚	☐ 「業務用カード」 (有料放送契約は不可) ☐ 「特定業務用カード」 (有料放送契約が可能)
カードID番号帯 (詳細は次頁に記載)	0000－ 0000－	－ － － － から まで
用 途 区 分 (□欄にチェック)	☐ ホテル・旅館・病院等の業務用のデジタル放送受信機器 ☐ レンタル・リース等の業務用のデジタル放送受信機器 ☐ 当社が特に使用を認めた業務用のデジタル放送受信機器 () ☐ 前各号のフィールドメンテナンスのための用途	
具 体 的 用 途 (具体的な使用状況等)		
使用機器名 (カードを実装した機器)	(メーカー名) (機 器 名 称) (型名・型式)	
機器の設置場所 (レンタルの場合は 「使用者」を記入)	(会 社 名) (住 所) 〒 (設置場所)	
保 守 事 業 者 (実装機器の保守 サービス業者)	(会社名) (住 所) 〒 (所属等) (担当者) (電話番号)	
機器の所有者	☐ 使用者、 ☐ リース業者、 ☐ その他 () (具体的所有者名:)	

【契約者名】 (「使用許諾契約約款」への契約者。個人の場合は「生年月日」も記入のこと)

(契約日) : 平成 年 月 日

(住 所) : 〒 -

(会社名) : (フリガナ)

(契約者) : (役職・氏名を記入)

(印)

(連絡者) : (E-mail) : @

(部署名) : (電話番号) : - -

(送付先: 〒100-8693 東京中央郵便局 私書箱1356号 (株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ)

便利メモ

コンバータ用ユニット HRM9602

入力チャンネル	出力チャンネル	B-CASカード番号 (B-CASカードの裏面に表示されています。)		
入力 ch.	出力 ch.			
設置日 年 月 日	ファン 交 換	1回目 年 月 日	2回目 年 月 日	3回目 年 月 日
入力 ch.	出力 ch.			
設置日 年 月 日	ファン 交 換	1回目 年 月 日	2回目 年 月 日	3回目 年 月 日
入力 ch.	出力 ch.			
設置日 年 月 日	ファン 交 換	1回目 年 月 日	2回目 年 月 日	3回目 年 月 日
入力 ch.	出力 ch.			
設置日 年 月 日	ファン 交 換	1回目 年 月 日	2回目 年 月 日	3回目 年 月 日
入力 ch.	出力 ch.			
設置日 年 月 日	ファン 交 換	1回目 年 月 日	2回目 年 月 日	3回目 年 月 日
入力 ch.	出力 ch.			
設置日 年 月 日	ファン 交 換	1回目 年 月 日	2回目 年 月 日	3回目 年 月 日
入力 ch.	出力 ch.			
設置日 年 月 日	ファン 交 換	1回目 年 月 日	2回目 年 月 日	3回目 年 月 日
入力 ch.	出力 ch.			
設置日 年 月 日	ファン 交 換	1回目 年 月 日	2回目 年 月 日	3回目 年 月 日

電源ユニット HPS9601

設置日 年 月 日	ファン 交 換	1回目 年 月 日	2回目 年 月 日	3回目 年 月 日
--------------	------------	--------------	--------------	--------------

※この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

■詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。■

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・長崎出張所 TEL.(095)842-0780(代)
・東京支店 TEL.(03)3526-5402(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	・神戸支店 TEL.(078)579-8550(代)	・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
・東京東出張所 TEL.(03)5654-9881(代)	・中部支店 TEL.(052)919-6531(代)	・姫路出張所 TEL.(079)283-5920(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)	・豊橋営業所 TEL.(0532)57-2133(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)
・北関東支店 TEL.(048)652-3311(代)	・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)	・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343(代)	

(2010年5月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング8F TEL.(03)3526-6327(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00(土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く)
ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>